

証券コード

5020

# メリルリンチ ジャパンコンファレンス2011 資料

---

2011年9月



エネルギー・資源・素材の<sup>みらい</sup>Xを。

JXホールディングス株式会社

**2011年度 第1四半期決算**  
**(2011年4月1日～2011年6月30日)**

- ✓ **原油価格上昇により在庫評価益は大幅に上昇。油価、銅価の上昇による石油開発、金属事業の増益はあるものの、燃費悪化、震災による数量減等が相殺し、実質経常利益は前年同期並み**



# 2011年度 第1四半期 決算概要 (前年同期比)

\*1 3月から5月の平均(与到着ベース)

原油代(ト'ハ'イ) (\$/B) *1
銅 価 (¢/lb)
為替レート (¥/\$)
売上高
営業利益
営業外利益
経常利益
在庫影響除き経常利益
特別損益
当期純利益

2010年度 第1四半期 (実績)	
	79
暦年へ-ス	(328) 319
暦年へ-ス	(91) 92
	(億円)
	22,352
	340
	251
	591
	595
	2,286
	2,622

2011年度 第1四半期 (実績)	
	111
暦年へ-ス	(438) 415
暦年へ-ス	(82) 82
	(億円)
	24,203
	1,245
	206
	1,451
	562
	▲38
	768

差 異	
	+32
暦年へ-ス	(+110) +96
暦年へ-ス	(▲9) ▲10
	(億円)
	+1,851
	+905
	▲45
	+860
	▲33
	▲2,324
	▲1,854



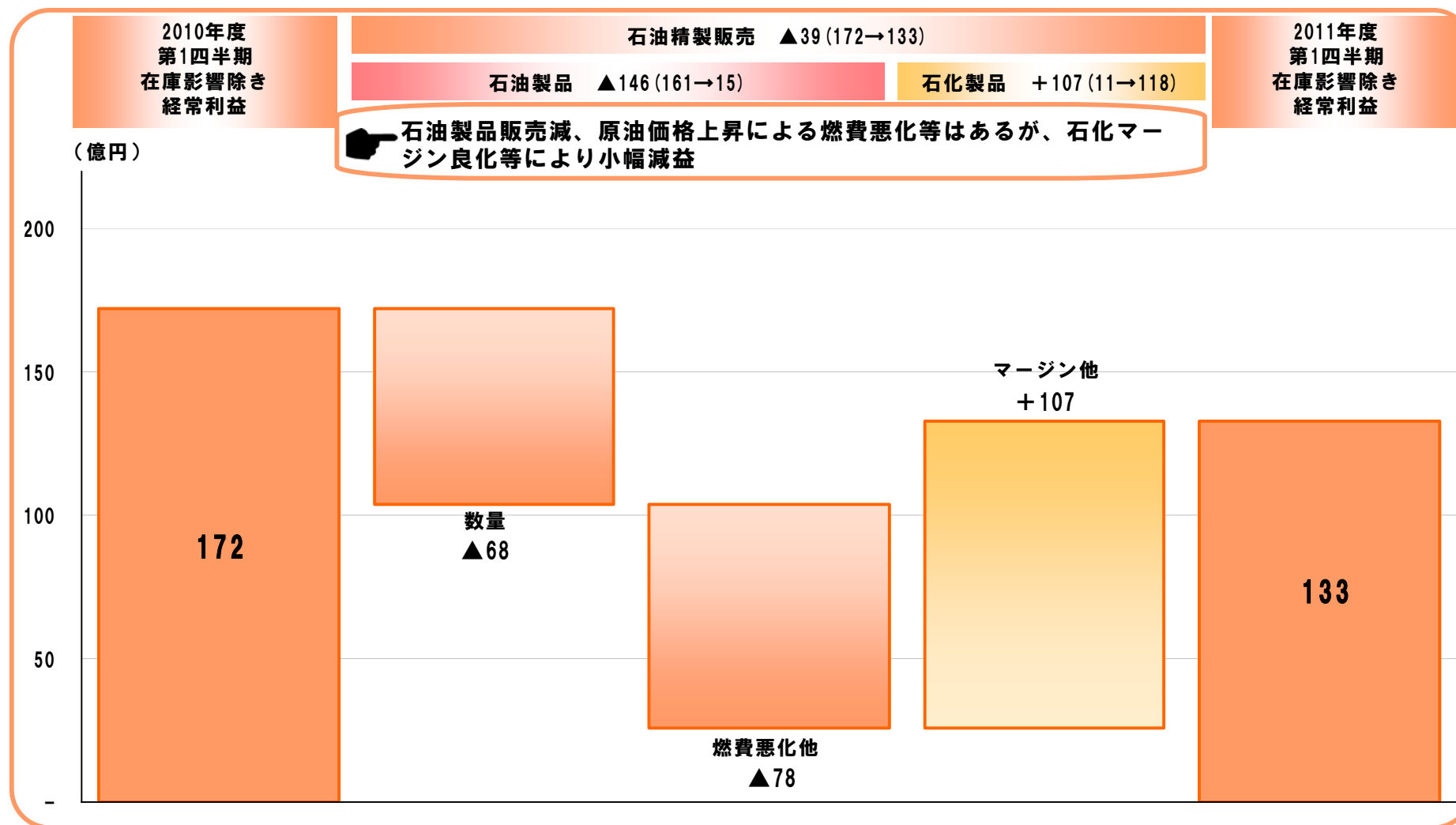
# 2011年度 第1四半期 セグメント別経常利益 (前年同期比)

	2010年度 第1四半期 (実績)	2011年度 第1四半期 (実績)	差 異
石油精製販売事業	(億円) 161	(億円) 1,009	(億円) +848
(うち在庫影響)	(▲11)	(876)	(+887)
在庫影響除き	172	133	▲39
(うち石油製品)	(161)	(15)	(▲146)
(うち石油化学製品)	(11)	(118)	(+107)
石油開発事業	174	229	+55
金属事業	174	189	+15
(うち在庫影響)	(7)	(13)	(+6)
在庫影響除き	167	176	+9
上場子会社 <sup>*1</sup> 他	82	24	▲58
経常利益 計	591	1,451	+860
在庫影響除き	595	562	▲33

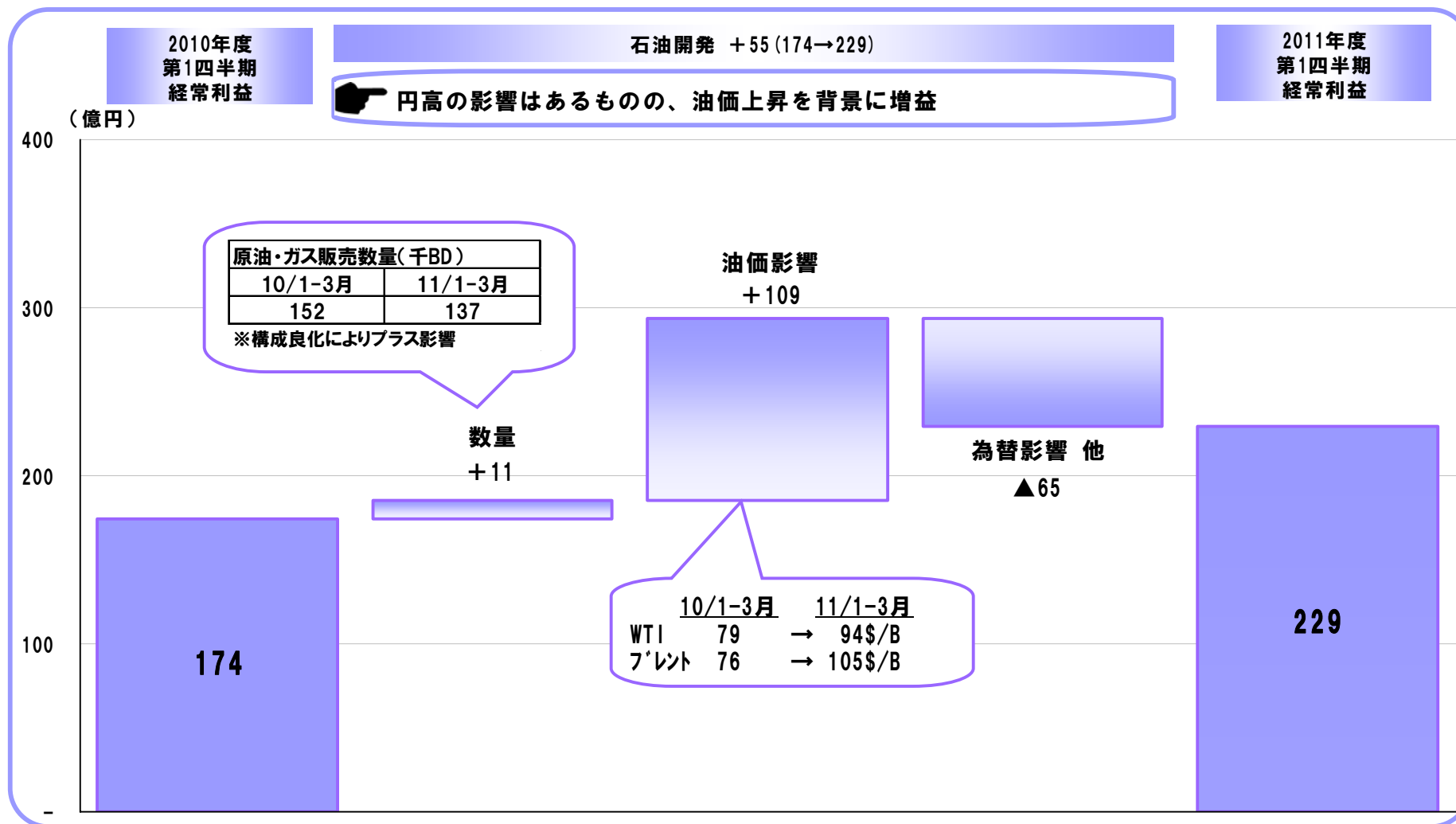
2010年度に時価評価による負ののれん償却益を計上

\*1 NIPPOおよび東邦チタニウム

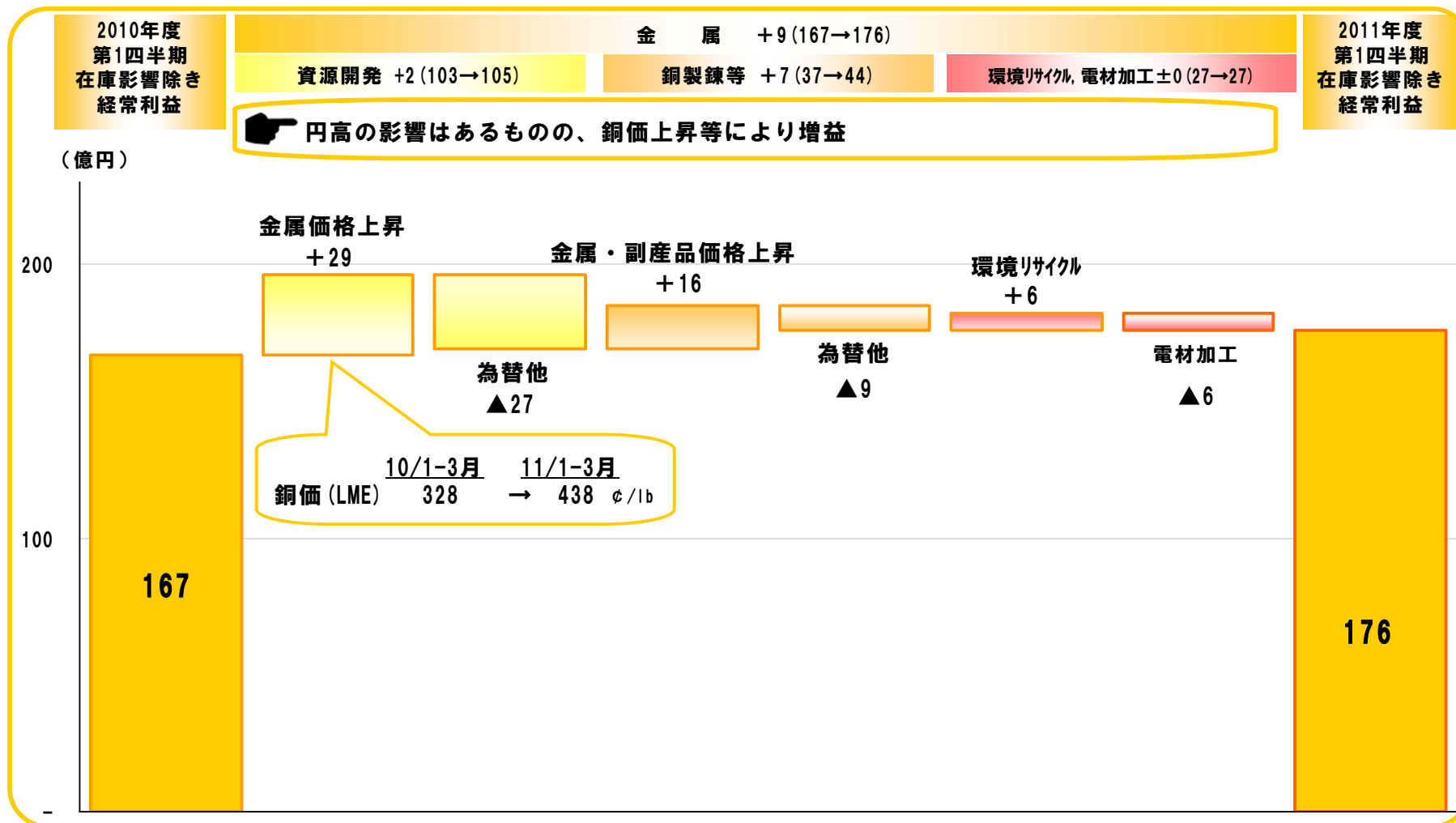
# 2011年度 第1四半期 石油精製販売事業 経常利益増減(前年同期比)



# 2011年度 第1四半期 石油開発事業 経常利益増減 (前年同期比)



# 2011年度 第1四半期 金属事業 経常利益増減 (前年同期比)



## 2011年度 上期(第2四半期累計) 連結決算見通し

- ✓ 円高による影響はあるものの、堅調な石油製品マージンや、原油価格・銅価の上昇を背景に、実質経常利益は前回見通し対比増益
- ✓ 2011年7~9月見通し前提は、原油価格105ドル/バレル、銅価380セント/ポンド、為替レート80円/ドル

\*通期の連結業績予想については、原油価格、金属価格および為替相場の動向等が先行き不透明なため、今回は修正せずに据え置きます。



# 2011年度 上期見通し 概要 (前回見通し比)

\* 3月から8月の平均 (≒到着ベース)

原油代(ト'ハイ) (\$/B) *
銅 価 (¢/lb)
為替レート (¥/\$)

売上高
営業利益
営業外利益
経常利益
在庫影響除き経常利益
特別損益
当期純利益

2011年度 上期見通し (5月公表)	
	101
暦年△-ス (409)	380
暦年△-ス (84)	85
	(億円)
	48,500
	1,700
	350
	2,050
	1,350
	▲280
	1,000

2011年度 上期見通し (今回)	
	108
暦年△-ス (426)	398
暦年△-ス (82)	81
	(億円)
	51,000
	1,950
	400
	2,350
	1,550
	▲250
	1,200

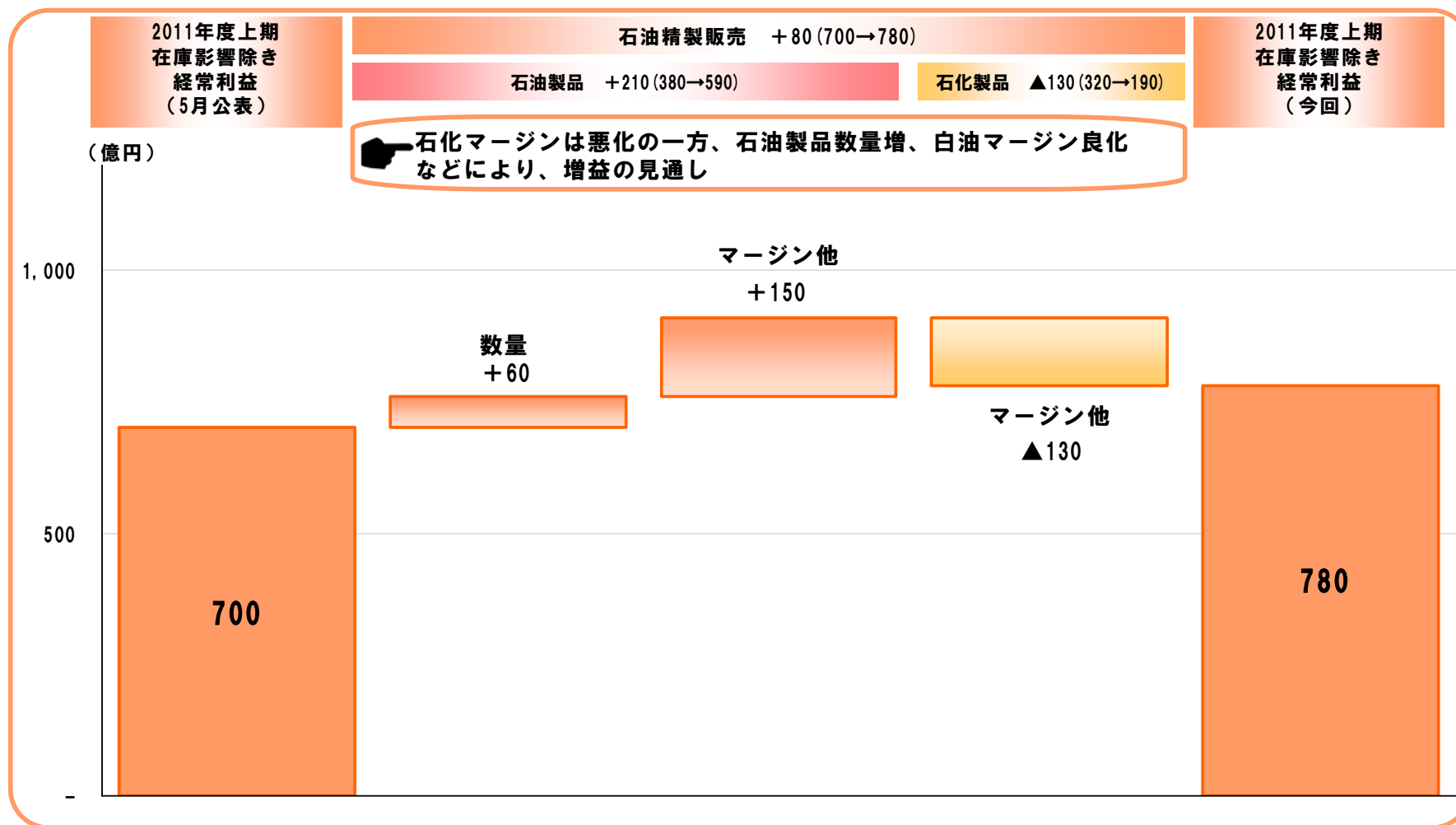
差 異	
	+7
暦年△-ス (+17)	+18
暦年△-ス (▲2)	▲4
	(億円)
	+2,500
	+250
	+50
	+300
	+200
	+30
	+200

# 2011年度 上期見通し セグメント別経常利益 (前回見通し比)

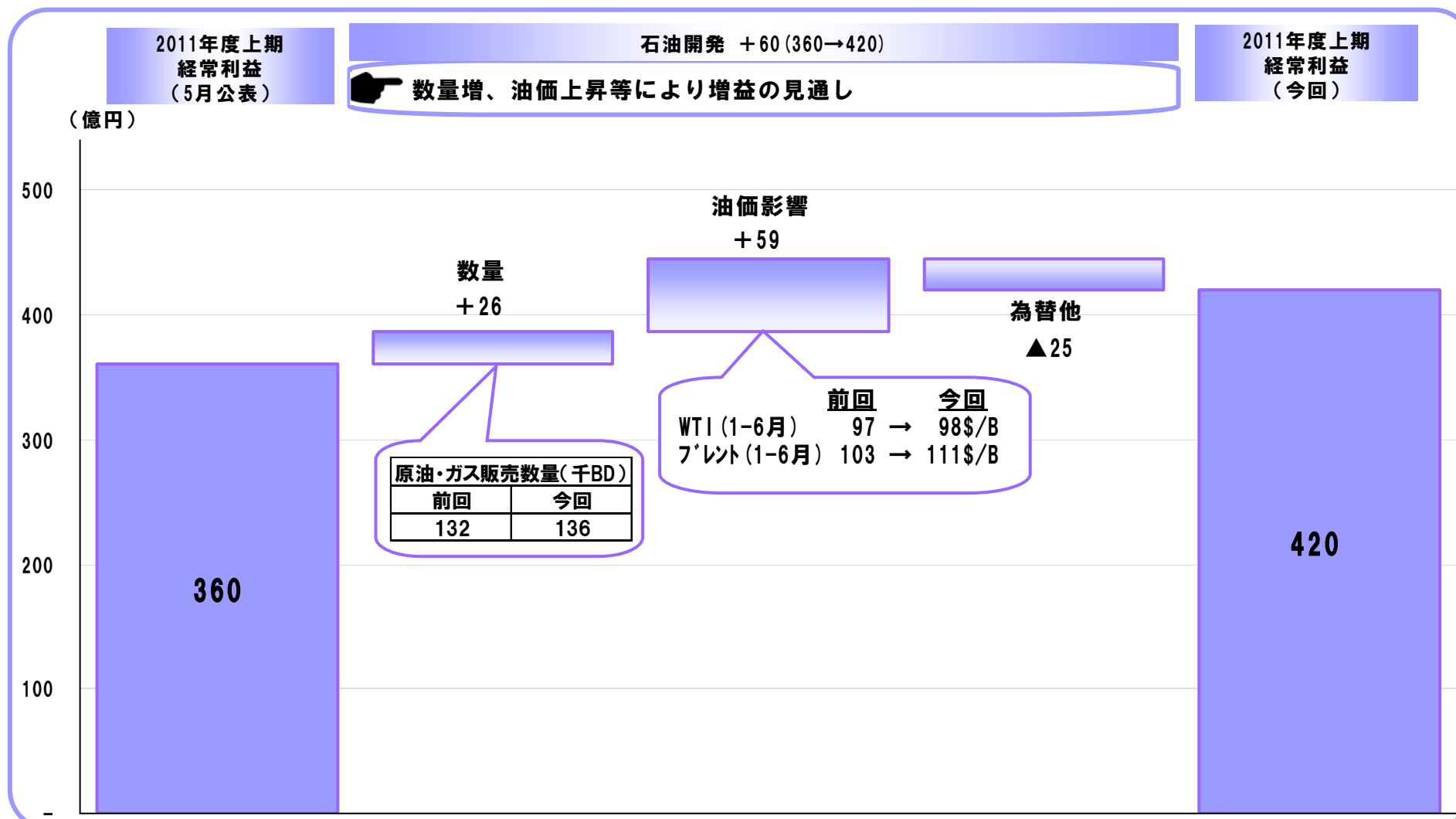
	2011年度上期 見通し (5月公表)	2011年度上期 見通し (今回)	差 異
石油精製販売事業	(億円) 1,400	(億円) 1,560	(億円) +160
(うち在庫影響)	( 700 )	( 780 )	( +80 )
<b>在庫影響除き</b>	<b>700</b>	<b>780</b>	<b>+80</b>
(うち石油製品)	( 380 )	( 590 )	( +210 )
(うち石油化学製品)	( 320 )	( 190 )	( ▲130 )
<b>石油開発事業</b>	<b>360</b>	<b>420</b>	<b>+60</b>
金属事業	270	350	+80
(うち在庫影響)	( 0 )	( 20 )	( +20 )
<b>在庫影響除き</b>	<b>270</b>	<b>330</b>	<b>+60</b>
上場子会社 <sup>※</sup> 他	20	20	±0
<b>経常利益 計</b>	<b>2,050</b>	<b>2,350</b>	<b>+300</b>
<b>在庫影響除き</b>	<b>1,350</b>	<b>1,550</b>	<b>+200</b>

※ NIPPOおよび東邦チタニウム

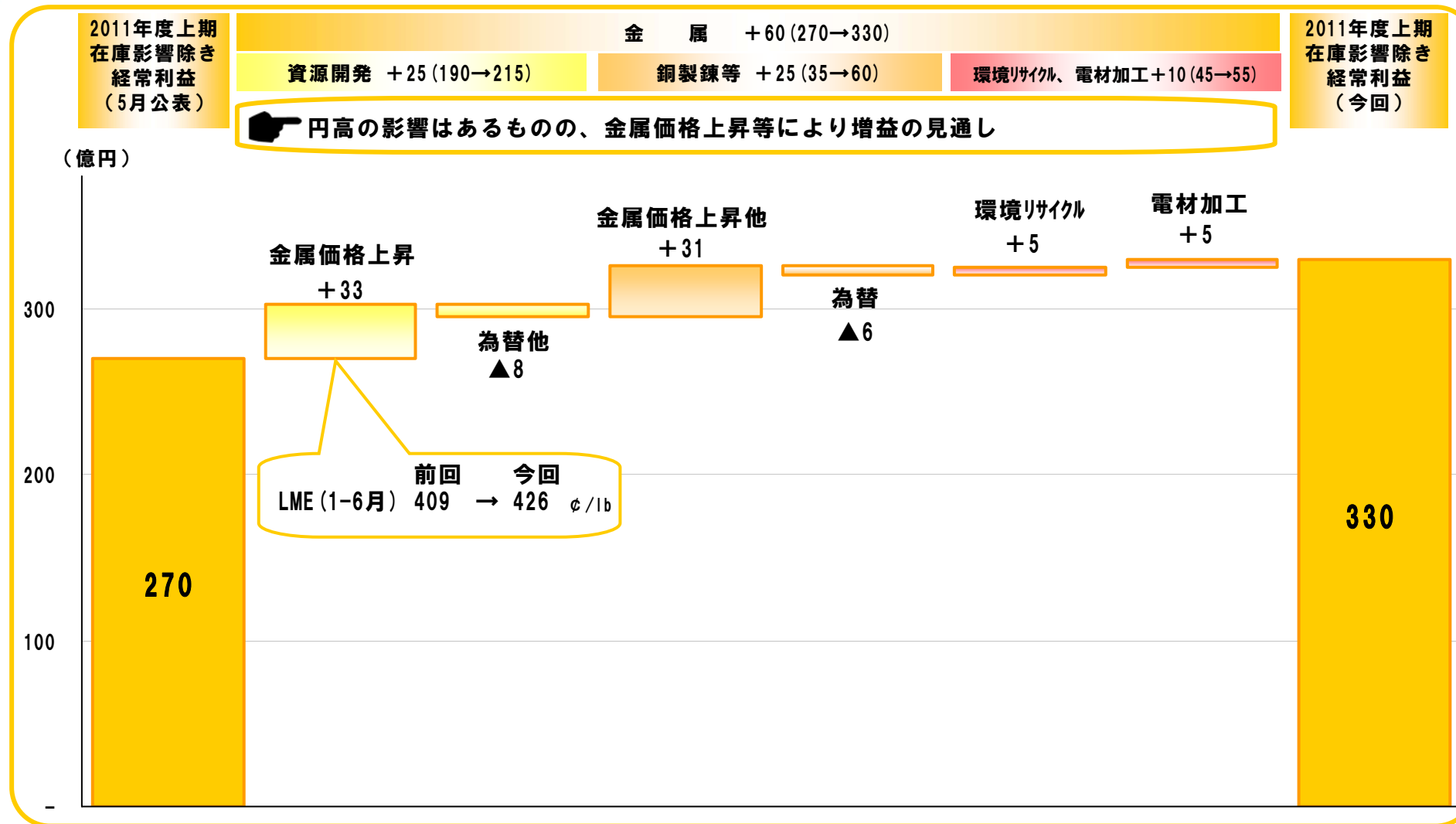
# 2011年度 上期見通し 石油精製販売事業 経常利益分析(前回見通し比)



# 2011年度 上期見通し 石油開発事業 経常利益分析 (前回見通し比)



# 2011年度 上期見通し 金属事業 経常利益分析 (前回見通し比)





## 参 考 資 料



# セグメント別 業績サマリー（売上高・営業利益・経常利益・当期利益）

	2010年度		2011年度		【参考】
	第1四半期	上期	第1四半期	上期	2011年度
	実績	実績	実績	見通し	通期
					5月12日公表 見通し
<b>売上高</b>	<b>22,352</b> 億円	<b>45,315</b> 億円	<b>24,203</b> 億円	<b>51,000</b> 億円	<b>103,000</b> 億円
石油精製販売事業	18,927	38,343	20,248	43,200	87,100
石油開発事業	386	771	445	900	1,700
金属事業	2,350	4,613	2,773	5,200	10,100
上場子会社 他	690	1,588	737	1,700	4,100
<b>営業利益</b>	<b>340</b>	<b>764</b>	<b>1,245</b>	<b>1,950</b>	<b>3,100</b>
石油精製販売事業	144	369	971	1,460	2,170
石油開発事業	138	249	216	380	660
金属事業	47	108	56	90	200
上場子会社 他	11	38	2	20	70
<b>営業外利益</b>	<b>251</b>	<b>387</b>	<b>206</b>	<b>400</b>	<b>700</b>
石油精製販売事業	17	59	38	100	100
石油開発事業	36	72	13	40	90
金属事業	127	197	133	260	480
上場子会社 他	71	59	22	0	30
<b>経常利益</b>	<b>591</b>	<b>1,151</b>	<b>1,451</b>	<b>2,350</b>	<b>3,800</b>
石油精製販売事業	161	428	1,009	1,560	2,270
石油開発事業	174	321	229	420	750
金属事業	174	305	189	350	680
上場子会社 他	82	97	24	20	100
<b>当期純利益</b>	<b>2,622</b>	<b>2,867</b>	<b>768</b>	<b>1,200</b>	<b>2,000</b>
石油精製販売事業			515	780	
石油開発事業			137	230	
金属事業			102	180	
上場子会社 他			14	10	



# セグメント別 経常利益（詳細分析）

	2010年度		2011年度		2011年度
	第1四半期	上期	第1四半期	上期	通期
	実績	実績	実績	見通し	5月12日公表 見通し
	億円	億円	億円	億円	億円
<b>経常利益</b>	<b>591</b>	<b>1,151</b>	<b>1,451</b>	<b>2,350</b>	<b>3,800</b>
<b>石油精製販売事業</b>	<b>161</b>	<b>428</b>	<b>1,009</b>	<b>1,560</b>	<b>2,270</b>
石油	161	770	15	590	970
石油化学	11	10	118	190	500
在庫影響	▲ 11	▲ 352	876	780	800
<b>石油開発事業</b>	<b>174</b>	<b>321</b>	<b>229</b>	<b>420</b>	<b>750</b>
<b>金属事業</b>	<b>174</b>	<b>305</b>	<b>189</b>	<b>350</b>	<b>680</b>
銅資源開発	103	165	105	215	425
銅製錬	37	57	44	60	105
環境リサイクル	▲ 2	24	4	30	65
電材加工	29	62	23	25	85
在庫影響	7	▲ 3	13	20	0
上場子会社 他*	82	97	24	20	100



# 前提条件

		2010年度		2011年度		【参考】
		第1四半期	上期	第1四半期	上期	2011年度
		実績	実績	実績	見通し	通期
						5月12日公表 見通し
共通	為替レート (円/ドル)	92	89	82	81	85
石油精製販売	原油FOB<ドバイスポット> <sup>*1</sup> (ドル/バレル)	79	76	111	108	101
	パラキシレンマージン (前月ドバイ比) (ドル/トン)	430	405	790	740	720
石油開発	原油相当販売数量 (千バレル/日)	152	145	137	136	131
	ガス価格<HenryHub> (ドル/mmbtu)	5.1	4.7	4.2	4.3	4.4
金属	銅価格LME<年度> (セント/ポンド)	319	324	415	398	380
	権益ベース精鉱銅量 (千トン/期・年)	21	46	23	47	100
	PPC銅販売量 (千トン/期・年)	159	304	152	288	574
	環境リサイクル金回収量 (トン/期・年)	1.6	3.6	1.5	3.5	7.2
	圧延銅箔販売量 (千km/月)	3.8	3.6	3.3	3.2	3.5
	精密圧延品生産品販売量 (千トン/月)	4.1	4.1	3.8	3.8	4.0

\*1 到着ベース

# 2011年度上期見通し 感応度



## ■前提条件（2011年7月～2011年9月）

為替：80円／ドル      原油：105ドル／バーレル      銅価：380セント／ポンド  
 （ドバイスポット）

## ■市況変動による2011年度上期経常利益への影響額

項目	変動幅	変動項目	影響度
為替レート	1円/ドル 円安	石油精製販売（エネルギーコスト増、石化マージン良化等）	(+) 1
		金属（製錬）	(+) 2
		小計	(+) 3
		在庫影響	(+) 40
		合計	(+) 43
原油FOB (ドバイスポット)	1ドル/バーレル 上昇	石油精製販売（エネルギーコスト増等）	(-) 3
		在庫影響	(+) 30
		合計	(+) 27
銅価（LME）	20セント/ポンド 上昇	金属（製錬）	(+) 1
		合計	(+) 1

\*石油開発、銅資源開発については1-6月の市況を上期決算見通しに既に織り込んでいます。

# 2011年度 上期見通し セグメント別経常利益 (前年同期比)

	2010年度上期 (実績)	2011年度上期 (見通し)	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
<b>石油精製販売事業</b>	<u>428</u>	<u>1,560</u>	<u>+1,132</u>	
(うち在庫影響)	( <u>▲352</u> )	( <u>780</u> )	( <u>+1,132</u> )	
<b>在庫影響除き</b>	<u>780</u>	<u>780</u>	<u>±0</u>	
(うち石油製品)	( <u>770</u> )	( <u>590</u> )	( <u>▲180</u> )	燃費悪化他
(うち石油化学製品)	( <u>10</u> )	( <u>190</u> )	( <u>+180</u> )	石化マージン良化他
<b>石油開発事業</b>	<u>321</u>	<u>420</u>	<u>+99</u>	原油価格上昇他
<b>金属事業</b>	<u>305</u>	<u>350</u>	<u>+45</u>	
(うち在庫影響)	( <u>▲3</u> )	( <u>20</u> )	( <u>+23</u> )	
<b>在庫影響除き</b>	<u>308</u>	<u>330</u>	<u>+22</u>	銅価格上昇他
<b>上場子会社*1 他</b>	<u>97</u>	<u>20</u>	<u>▲77</u>	
<b>経常利益 計</b>	<u>1,151</u>	<u>2,350</u>	<u>+1,199</u>	
<b>在庫影響除き</b>	<u>1,506</u>	<u>1,550</u>	<u>+44</u>	

\*1 NIPPOおよび東邦チタニウム

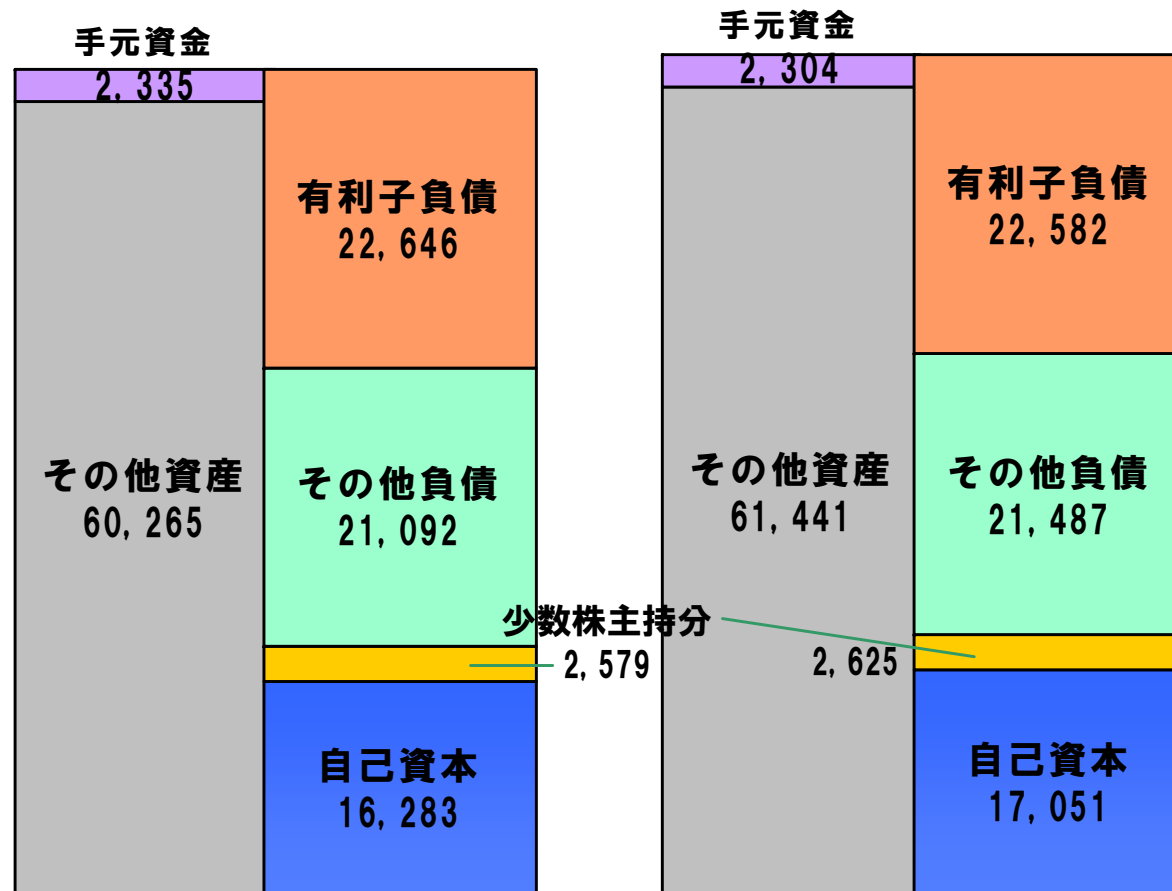
# 2011年度第1四半期 連結バランスシート



総資産：62,600

総資産：63,745

(億円)



<3月末比 ▲64億円>

休日影響835億円を除くと、有利子負債は実質的に771億円の増加。  
資源高を背景に、運転資金が増加。

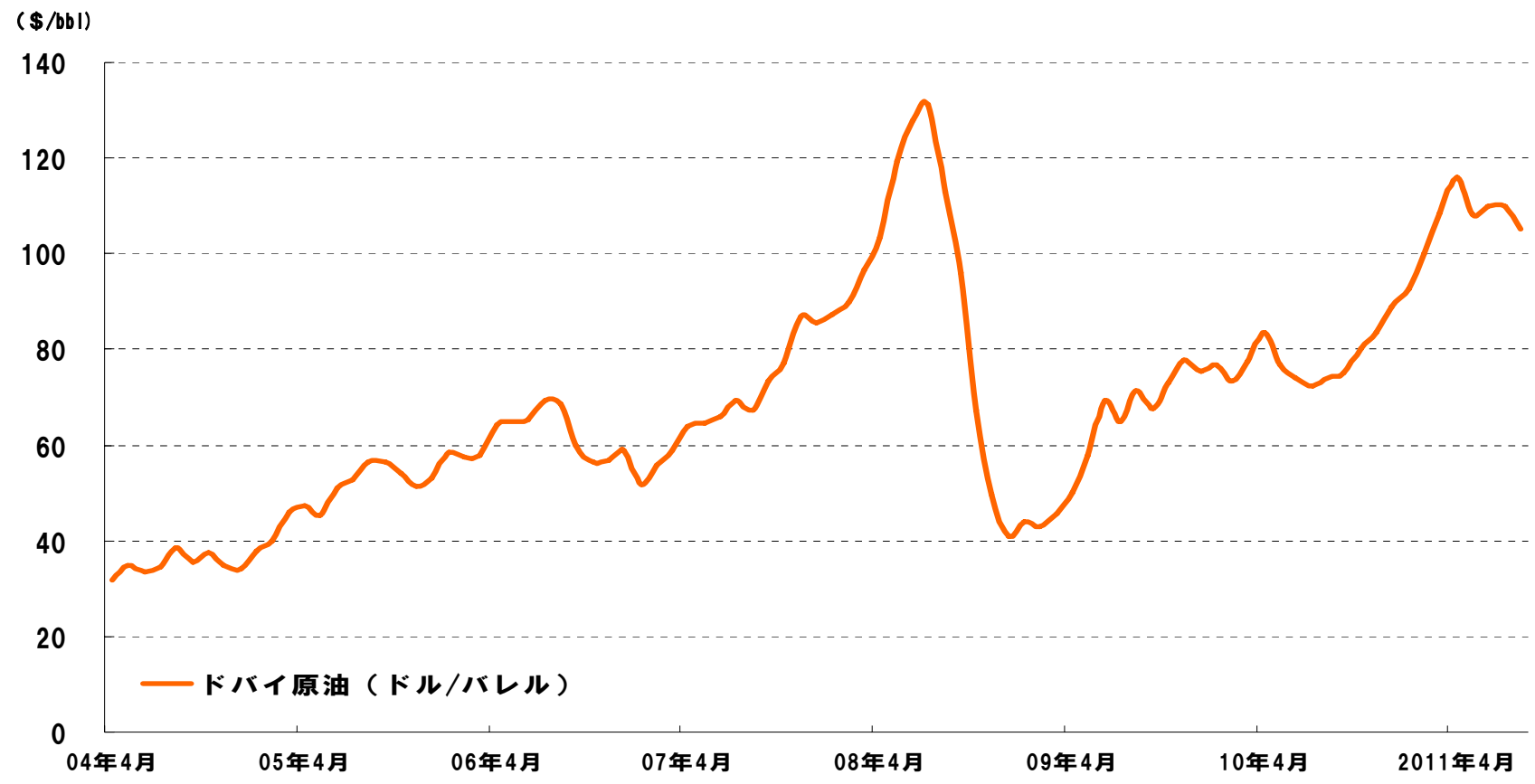
2011年3月末

2011年6月末

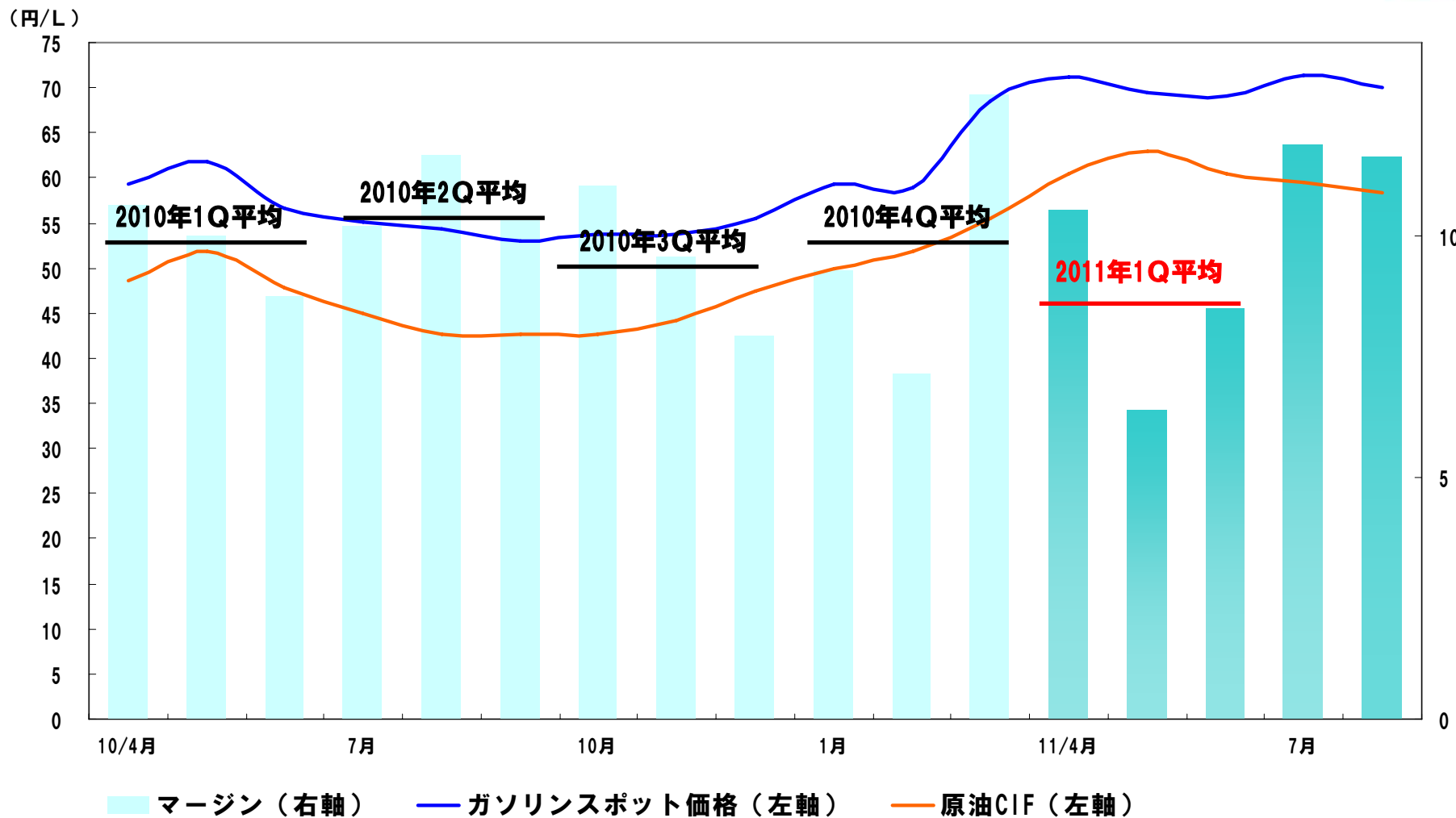
石油精製販売  
原油価格



平均価格	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度		
								1Q	7月	8月
ドバイ原油	37	54	61	77	82	70	84	111	110	105



石油精製販売  
国内マージン（ガソリン）



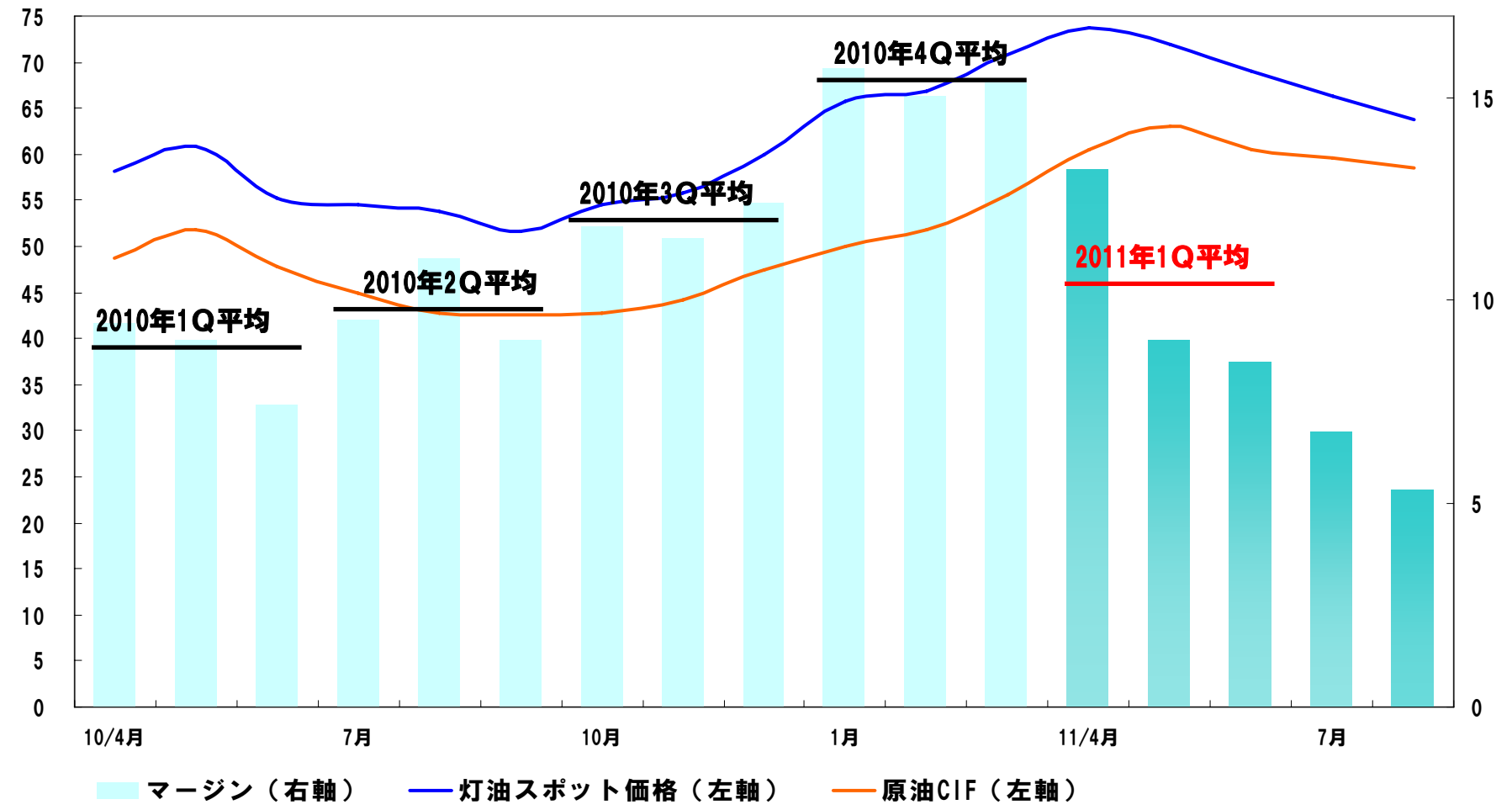
注：マージン = スポット価格 - 全国通関原油CIF（石油税、金利含み）

（出典：財務省通関統計）

石油精製販売  
国内マージン（灯油）



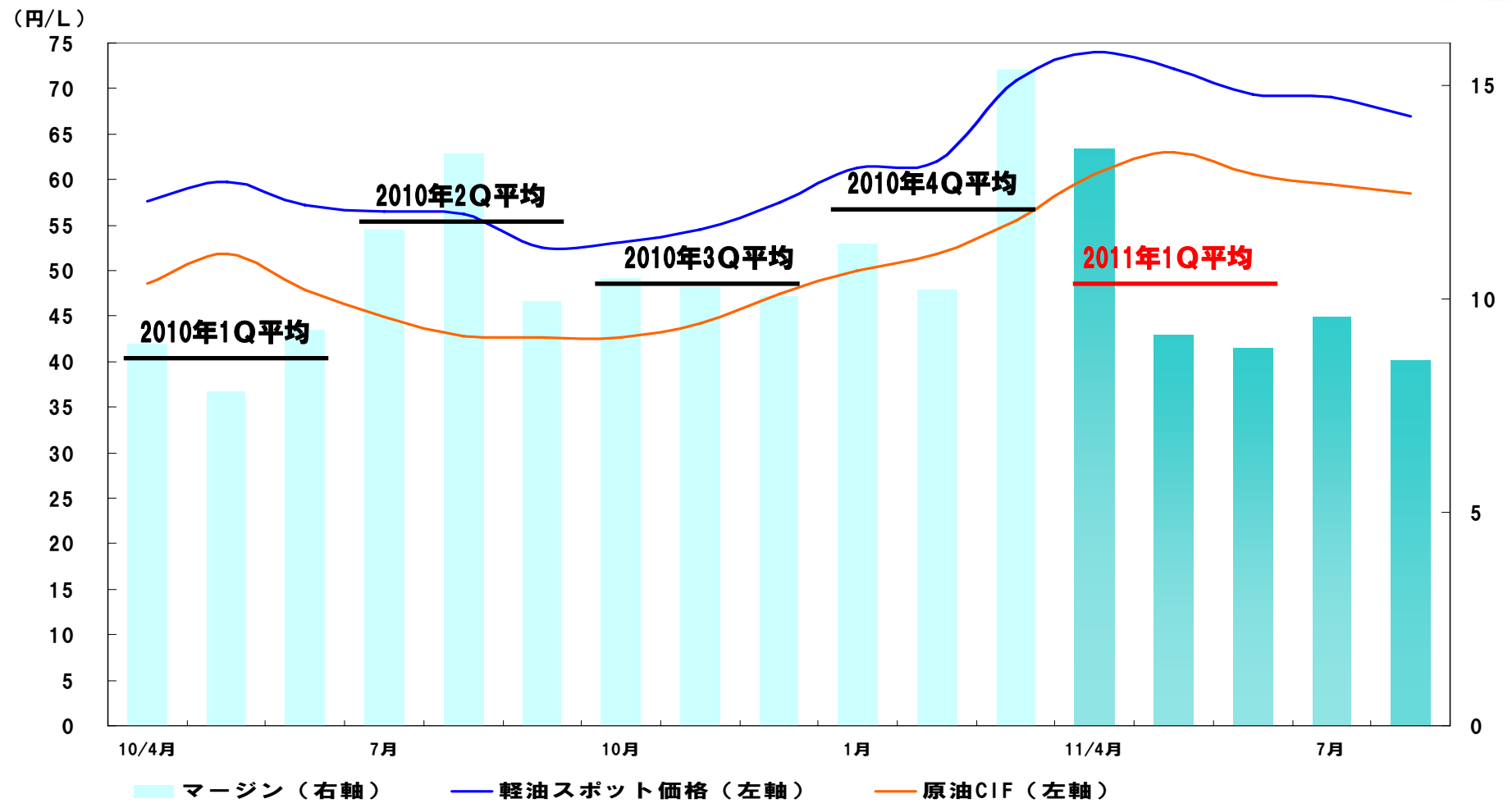
(円/L)



注：マージン = スポット価格 - 全国通関原油CIF (石油税、金利含み)

(出典：財務省通関統計)

石油精製販売  
国内マージン（軽油）

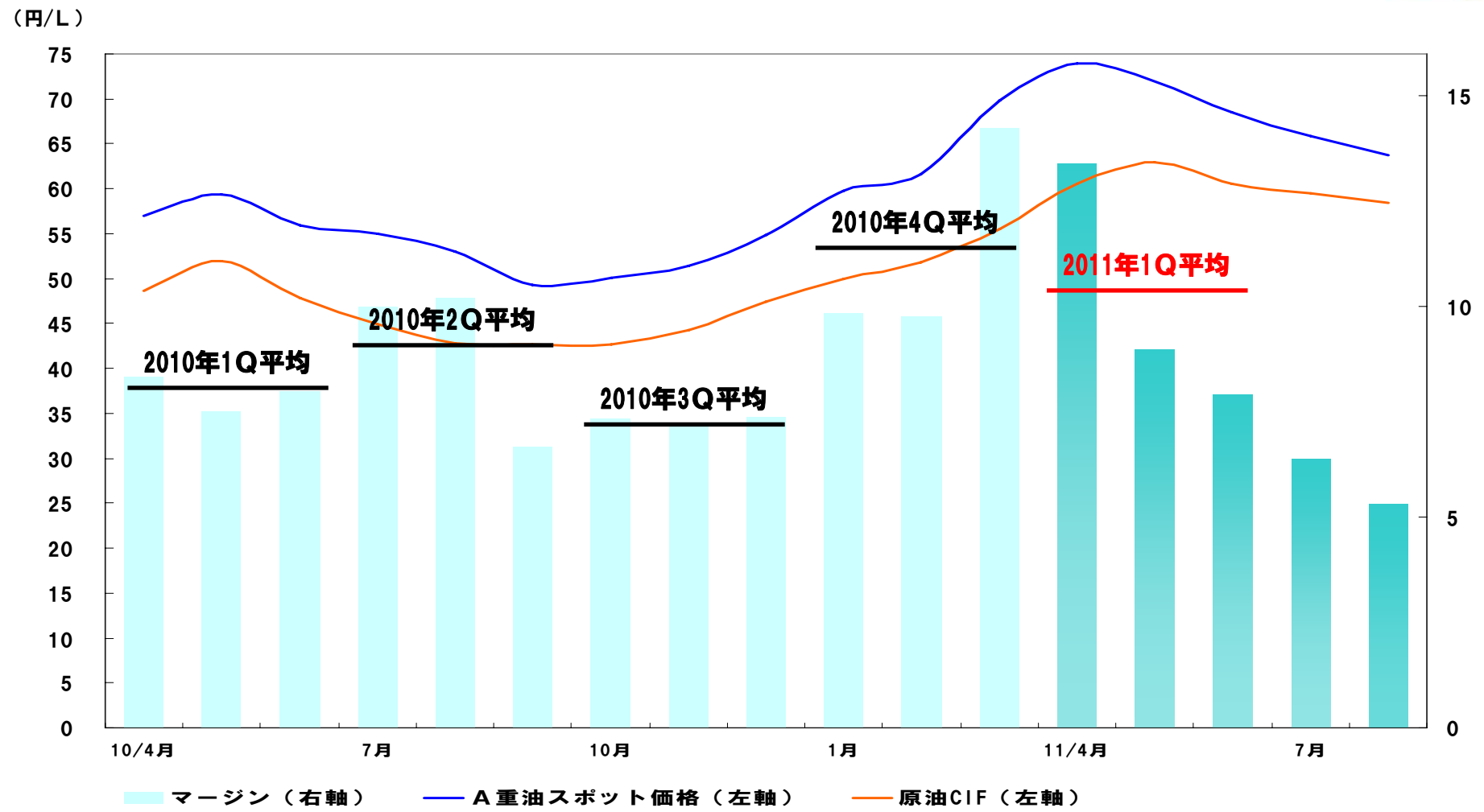


注：マージン = スポット価格 - 全国通関原油CIF（石油税、金利含み）

（出典：財務省通関統計）



石油精製販売  
国内マージン（A重油）



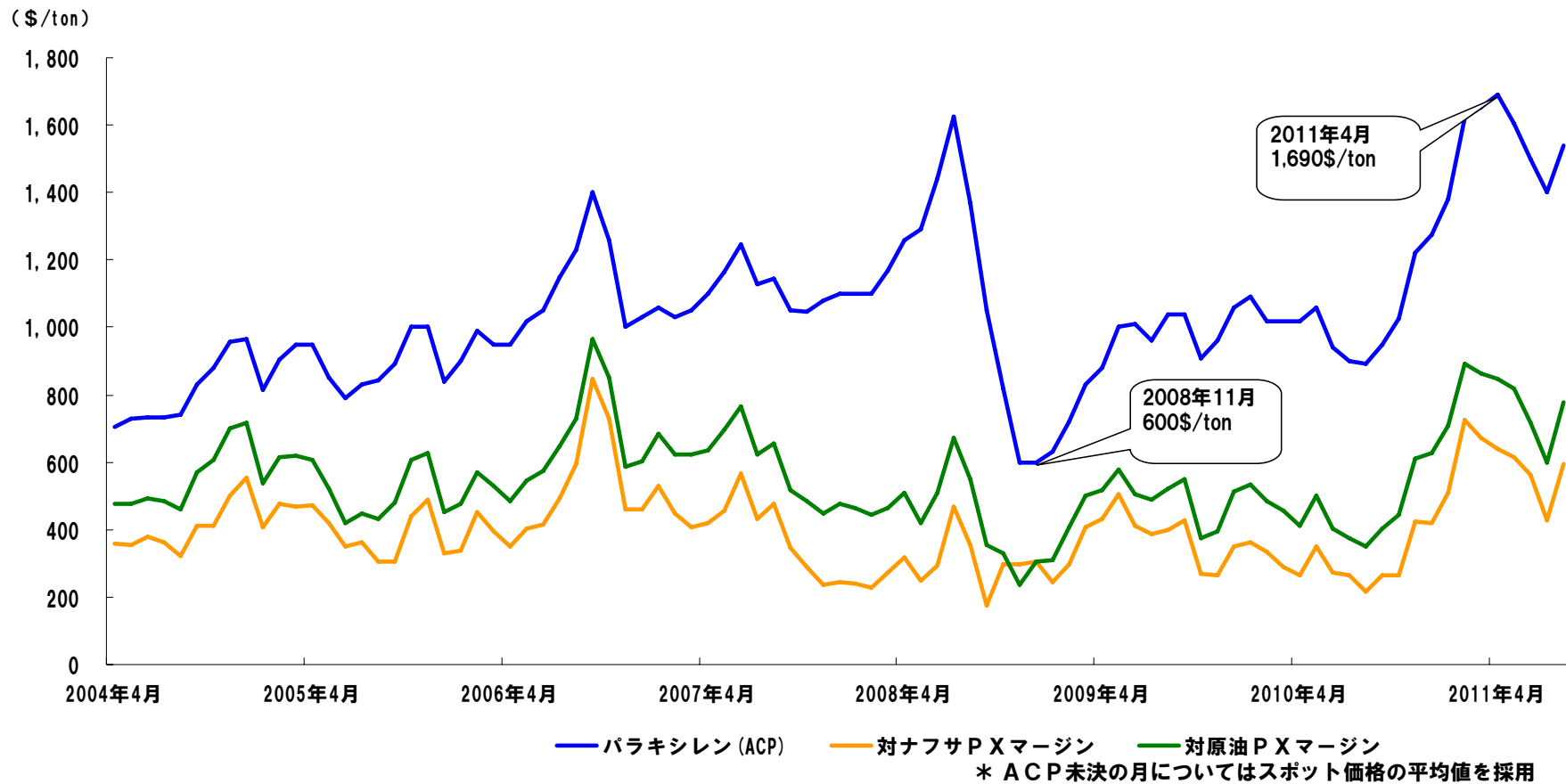
注：マージン = スポット価格 - 全国通関原油CIF（石油税、金利含み）

（出典：財務省通関統計）

# パラキシレン価格・マージン（対ナフサ・対原油）



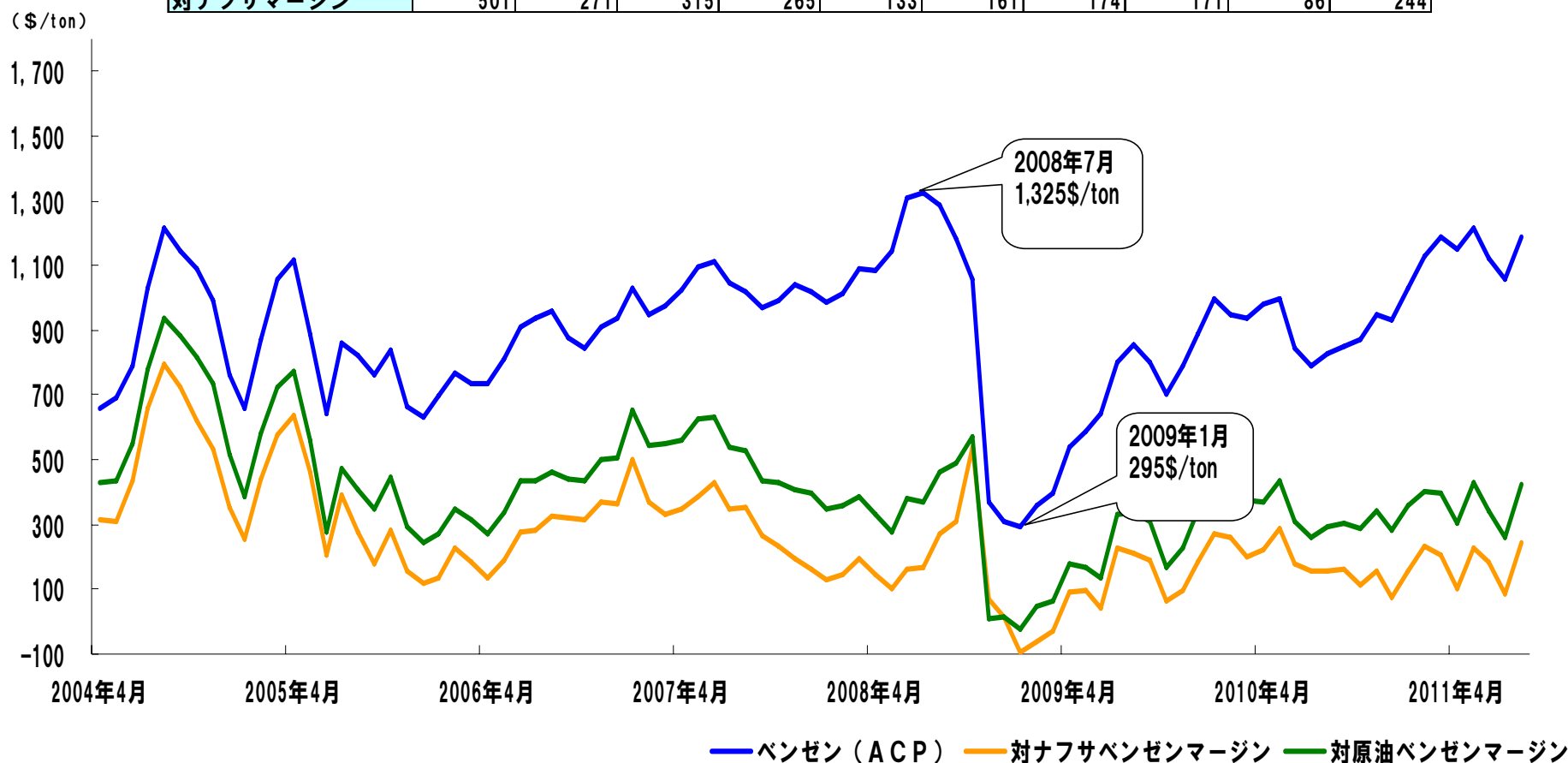
平均価格	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度 (\$/ton)		
								1Q	7月	8月
Asian Contract Price	829	903	1,103	1,119	1,020	999	1,162	1,598	1,400	1,540
対原油マージン	563	514	660	556	425	493	550	793	600	776
対ナフサマージン	416	389	511	351	309	369	388	606	426	594



# ベンゼン価格・マージン（対ナフサ・対原油）



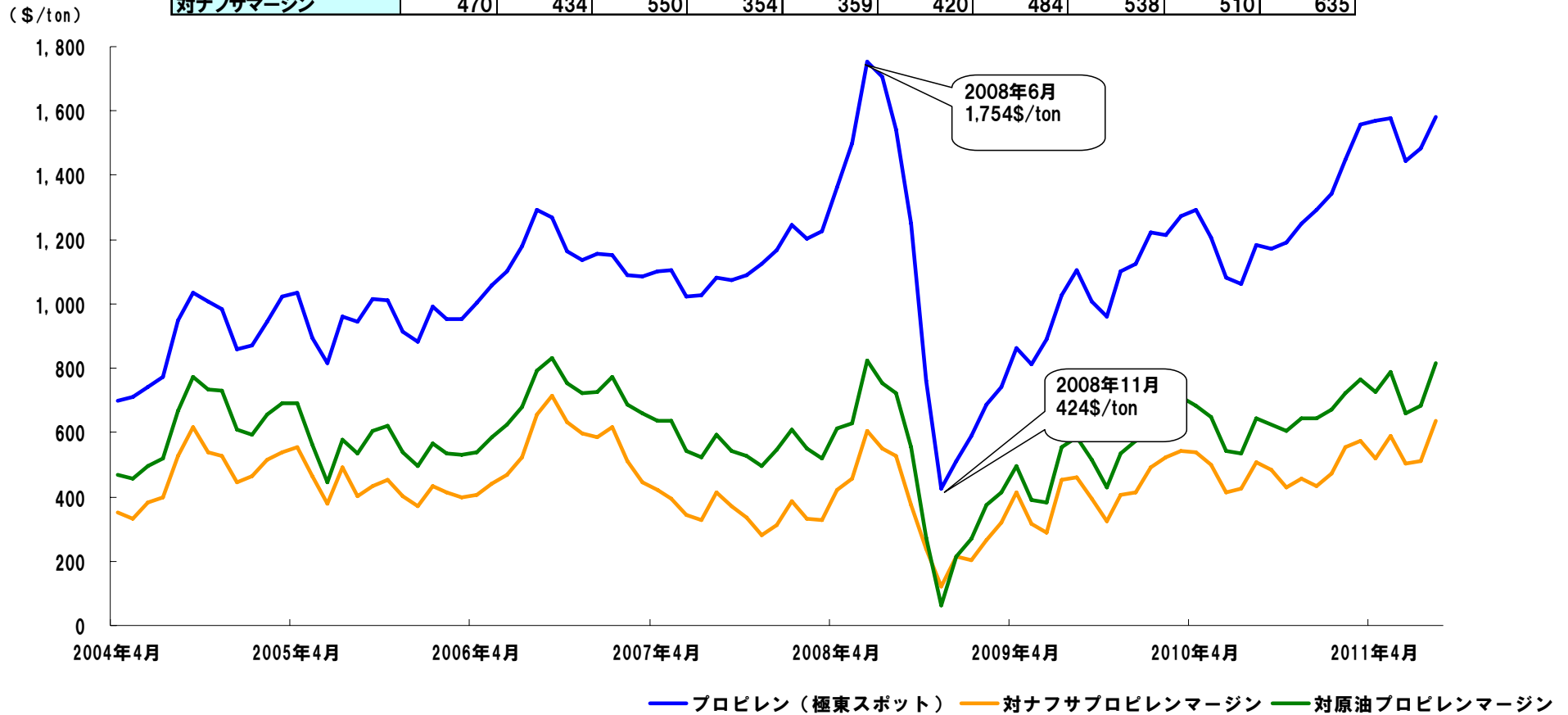
平均価格	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度 (\$/ton)		
								1Q	7月	8月
Asian Contract Price	914	786	907	1,034	844	791	948	1,163	1,060	1,190
対原油マージン	648	397	464	471	249	285	336	358	260	426
対ナフサマージン	501	271	315	265	133	161	174	171	86	244



# プロピレン価格・マージン（対ナフサ・対原油）



平均価格	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度 (\$/ton)		
								1Q	7月	8月
極東スポット	883	948	1,138	1,123	1,070	1,050	1,258	1,531	1,484	1,581
対原油マージン	617	559	695	563	475	544	646	725	684	817
対ナフサマージン	470	434	550	354	359	420	484	538	510	635



## 油種別販売数量（10年度1Q実績・11年度1Q実績）



油種	2010年度 1Q <sup>*1</sup>	2011年度 1Q	増減率
	万KL	万KL	
揮発油	486	448	-7.8%
(ハイオク)	(70)	(61)	-12.9%
(レギュラー)	(414)	(384)	-7.2%
ナフサ	86	59	-31.4%
ジェット	33	30	-9.1%
灯油	125	90	-28.0%
軽油	291	276	-5.2%
A重油	148	125	-15.5%
C重油	135	148	9.6%
(電力C)	(68)	(84)	23.5%
(一般C)	(67)	(64)	-4.5%
内需燃料油計	1,303	1,177	-9.7%
原油	18	58	222.2%
潤滑油・特品	78	69	-11.5%
化学品(万t)	128	120	-6.3%
輸出燃料油	224	175	-21.9%
LPG(万t)	45	4	-91.1%
石炭(万t)	132	94	-28.8%
ジョイント等除き計	1,928	1,697	-12.0%
ジョイント等	551	540	-2.0%
総合計	2,479	2,236	-9.8%

\*2010年度1Qは新日本石油、ジャパンエナジーの単純合計

石油精製販売  
固定式SS数推移



	05年度末	06年度末	07年度末	08年度末	09年度末	10年度末	11年6月末
JXグループ	14,640	14,076	13,474	13,318	12,687	12,149	12,053
EMGK <sup>*1</sup>	6,464	6,044	5,635	5,064	4,761	4,519	4,474
出光興産	5,249	5,059	4,913	4,598	4,338	4,148	4,078
昭和シェル	4,689	4,560	4,481	4,256	4,102	3,922	3,840
コスモ	4,552	4,359	4,188	3,913	3,768	3,609	3,583
その他元売 <sup>*2</sup>	1,439	1,388	1,383	687	683	654	648
元売計	37,033 (79.8%)	35,486 (79.4%)	34,074 (79.2%)	31,836 (77.5%)	30,339 (76.8%)	29,001 (76.7%)	28,676 (76.7%)
PB他 <sup>*3</sup>	9,367 (20.2%)	9,214 (20.6%)	8,926 (20.8%)	9,264 (22.5%)	9,161 (23.2%)	8,799 (23.3%)	8,724 (23.3%)
合計 <sup>*3</sup>	46,400	44,700	43,000	41,100	39,500	37,800	37,400

<社有SS数>

	09年度末	10年度末	11年6月末
JXグループ	2,893	2,701	2,678

<セルフSS数>

	09年度末	10年度末	11年6月末
JXグループ	2,378	2,385	2,389
全 国 <sup>*4</sup>	6,906	6,935	6,936

\*1. エッツ、モービル、ゼネラル、キグナスの合算

\*2. (07年度まで)九石、太陽、三井の3社合計、(08年度以降)太陽・三井の2社合計

\*3. 当社推定

\*4. 元売系列のセルフSSのみ (出典：燃料油脂新聞、石油情報センター他より当社作成)



## 燃料油販売シェア

油種	10年度 1Q (%)	11年度 1Q (%)
揮発油	34.7	33.6
灯油	40.6	37.8
軽油	37.8	35.9
A重油	42.4	41.4
4品計	37.2	35.6
内需燃料油	32.6	33.6

## 内需（前年同期比）

油種	10年度 1Q (千KL)	11年度 1Q (千KL)	前年比 (%)
揮発油	13,990	13,322	95.2
灯油	3,351	2,595	77.4
軽油	7,755	7,696	99.2
A重油	3,480	3,019	86.8
4品計	28,576	26,632	93.2
内需燃料油	44,524	41,833	94.0

## 稼働率推移（定修、震災影響除き）

（単位：百万BD）

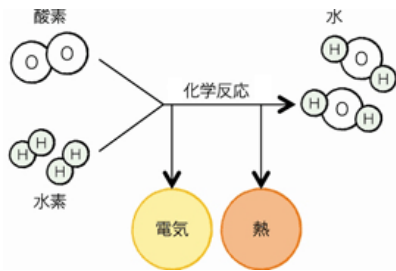
	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年 1Q
JXグループ	94%	93%	91%	89%	85%	78%	86%	88%

注：水島、鹿島のコンデンセートスプリッターを除外している。

# 新エネルギー【燃料電池事業：エネファーム】

## エネファームの特長

### ✓環境にやさしい



エネファームを1年間使用した場合

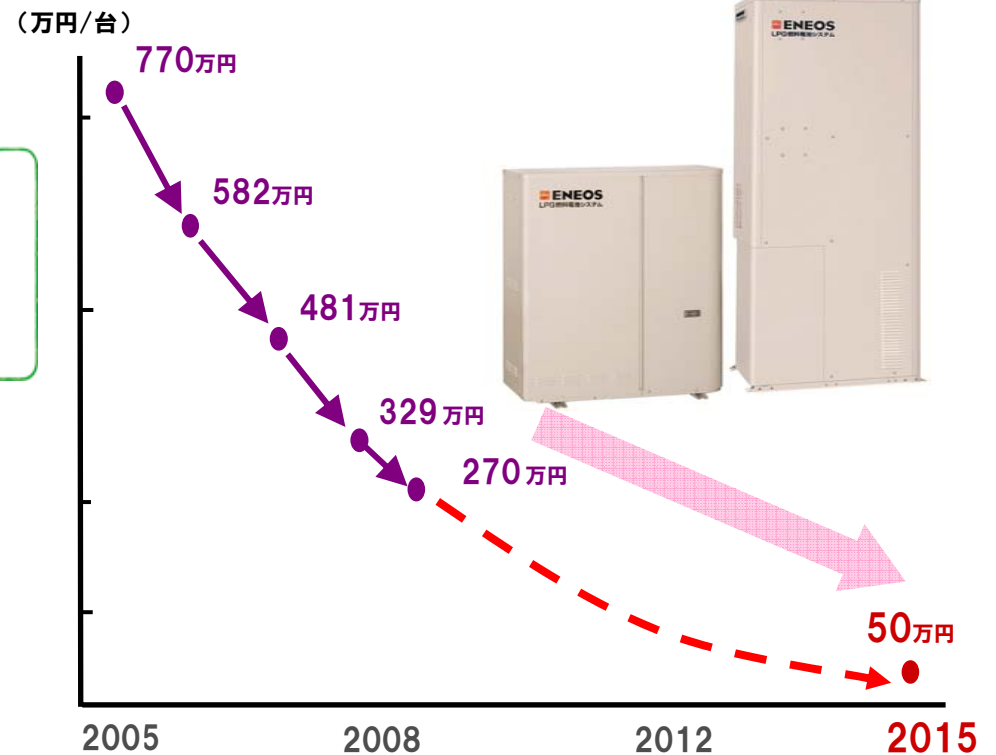
CO<sub>2</sub>排出量 約30%削減<sup>※</sup>

杉の木 × 約80本分 が吸収する CO<sub>2</sub>量に相当

### ✓省エネ設計

従来システム *1	
・送電ロス 5%	エネルギー効率 35-40%
・排熱ロス 55~60%	
エネファーム	
・送電ロス 0%	エネルギー効率 80-85%
・排熱ロス 15~20%	

## エネファームの販売価格目標



\*1 火力発電のエネルギーと従来の給湯器を使用した場合



# 主な石油・天然ガス開発プロジェクトの販売量・埋蔵量

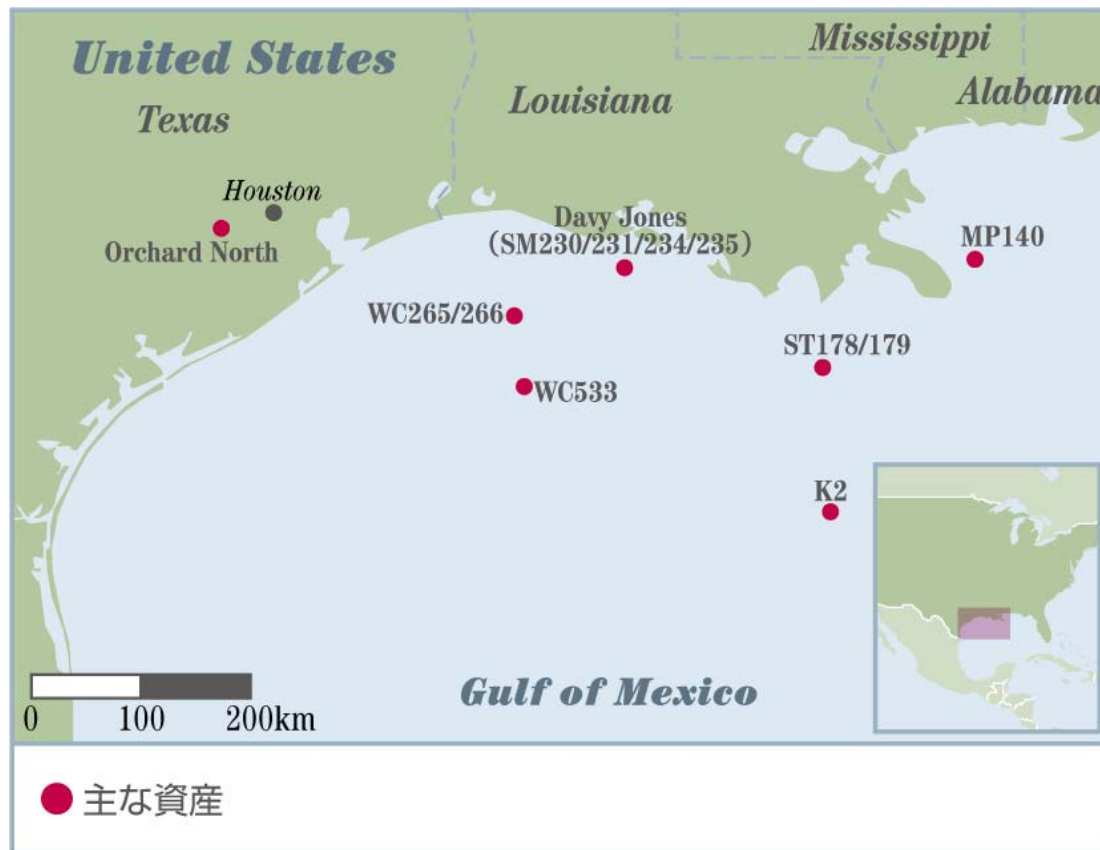


プロジェクト地域/会社	2011年 1-3月販売量 (千boed)*1			埋蔵量 *2 (百万boe)
		油	ガス	
[米国メキシコ湾] NOEX USA	5	3	2	27
[カナダ] 日本カナダ石油	16	16	-	253
[英国北海] JXNEPUK	11	9	2	20
[ベトナム] 日本ベトナム石油	9	6	3	
[ミャンマー] 日石ミャンマー	9	1	8	
[マレーシア] JX日鉱日石マレーシア JX日鉱日石サラワク	20 35	3 2	17 33	
[インドネシア] 日石ペラウ	13	0	13	<小計> 319
[バブアニューギニア] 日本バブアニューギニア石油 サザンハイランド石油開発	5 0	5 0	- -	
[オーストラリア] NOEX (Dampier)	1	1	-	<小計> 87
[UAE・カタール他] アブダビ石油・合同石油他	13	13	0	69
合計	137	59	78	775

# 主な個別プロジェクトの概要①



## 米国メキシコ湾



【2011年1-3月販売数量】 5,200 boed  
(油 3,100 b/d、ガス 13 mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
JX Nippon Oil Exploration (U.S.A.) Ltd. (100%)

【権益比率】 11.6%-100%

【オペレーター】 JX Nippon Oil Exploration (U.S.A.) Ltd.、  
アナダルコ、Hilcorp Energy 他

- ・1990年以降、テキサス州陸上鉦区、米国メキシコ湾大陸棚域および深海域において探鉦・開発・生産事業を展開中
- ・オーチャードノース・ガス田、アコンカグア・ガス田、バーゴ・ガス田に加え、2005年デボン社より、2007年にはアナダルコ社よりメキシコ湾の油ガス田権益を取得
- ・2010年1月 デイビージョーンズ構造でガス層を発見
- ・2010年9月 浅海・深海資産の一部を売却
- ・2011年2月 デイビージョーンズ構造の広がりを確認

## カナダ



【2011年1-3月販売数量】 16,100 boed  
 (油 16,100 b/d)

【プロジェクト会社】 ( ) 内 当社グループの出資比率  
 日本カナダ石油(株) (100%)

【権益比率】 5%

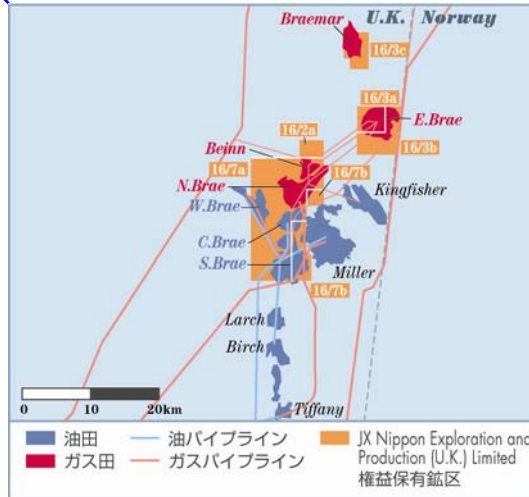
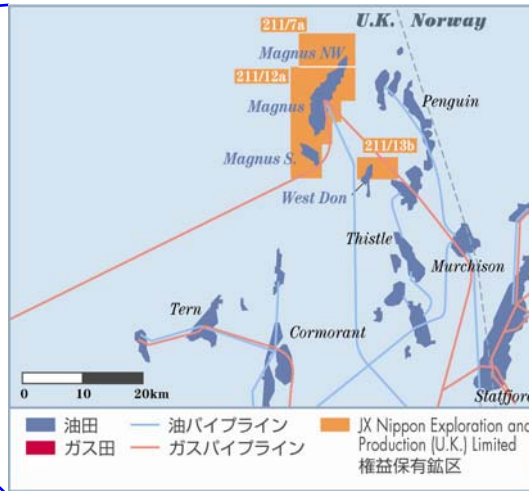
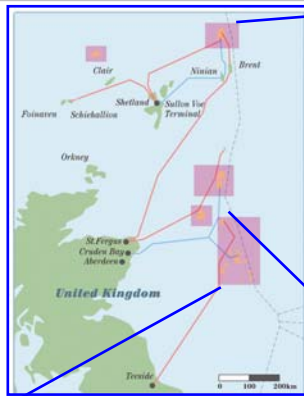
【オペレーター】 シンクルード・カナダ

- ・1992年ペトロカナダ社保有のシンクルード・プロジェクトの権益5%を取得。その後、現地子会社Mocal Energy Ltd(日本カナダ石油(株)の100%出資)に権益を譲渡し、生産事業を推進中

# 主な個別プロジェクトの概要③



## 英国北海①



【2011年1-3月販売数量】 10,900 boed  
(油 8,600 b/d、ガス 14 mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
JX Nippon Exploration and Production (U.K.)  
Limited (100%)

【権益比率】 2.1%-38.2%

【オペレーター】 BP、シェル、マラソン 他

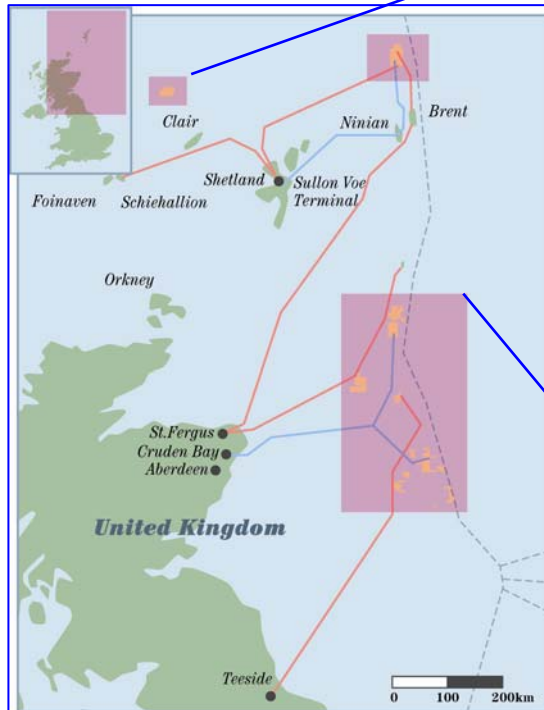
・1994年 アンドリュウ、ムンゴ/モナン、ピアス、ミレン/マトー  
ス及びブレイン油田等、1996年マグナス油田、2002年  
ブレイガス田、フィディックガス田、2004年ウェストン油田  
の権益を取得。現在、探鉱・開発・生産事業を展開中

・2011年3月 22/25a 鉱区内カリーン構造にて、天然ガス、  
コンデンセートの広がりを確認

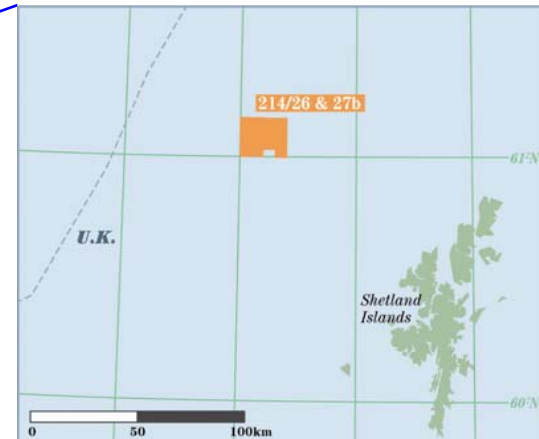
# 主な個別プロジェクトの概要④



## 英国北海②



2010年に政府が実施した公開入札(26次ライセンスラウンド)で、新規探鉱鉦区を取得



【プロジェクト会社】 ( ) 内当社グループの出資比率  
 JX Nippon Exploration and Production  
 (U.K.) Limited (100%)

### ◆オペレーター鉦区

【権益比率】 40%

シェトランド諸島西方海域  
 214/26、214/27b



### ◆ノンオペレーター鉦区

【権益比率】 10-25%

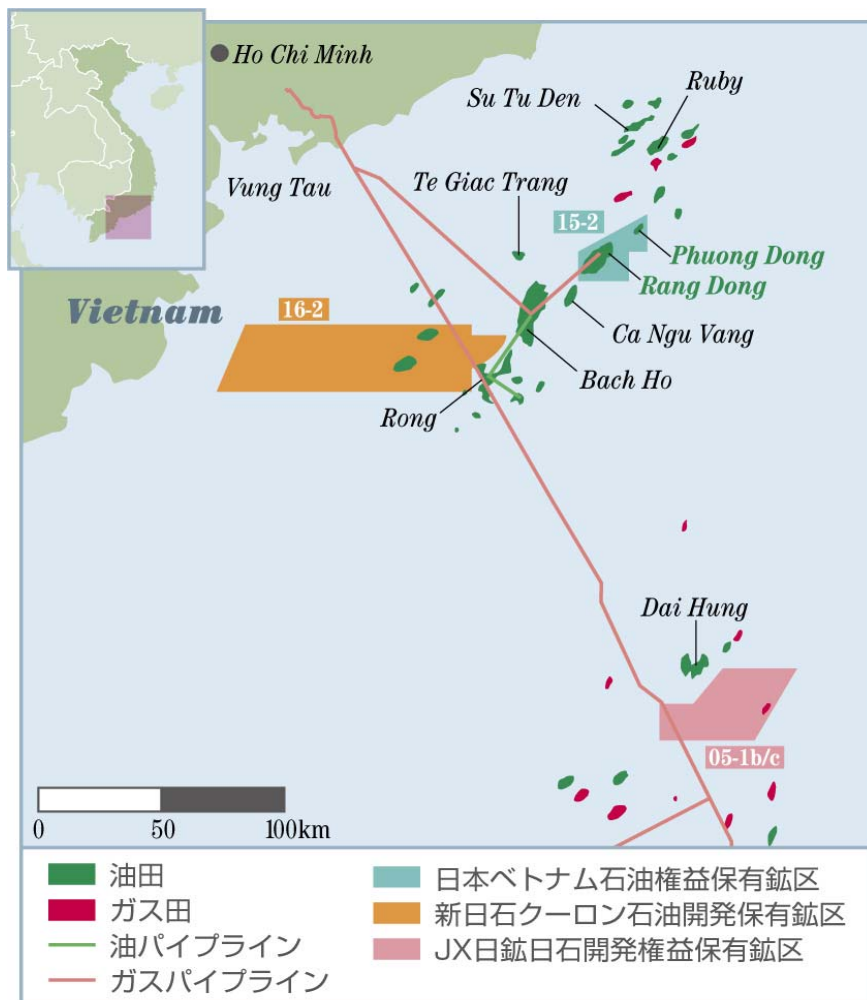
【オペレーター】 GDFスイス、BP、マースク、TAQA

### 中部海域

22/16、22/17b、22/20b、22/23c、22/30e、  
 23/26e、30/1a、16/1a、16/2d、16/6c



## ベトナム① (15-2鉱区)



【2011年1-3月販売数量】 9,300 boed  
 (油 6,500 b/d、ガス 17 mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ( ) 内 当社グループの出資比率  
 日本ベトナム石油 (株) (97.1%)

【権益比率】 ラットン : 46.5%  
 フントン : 64.5%

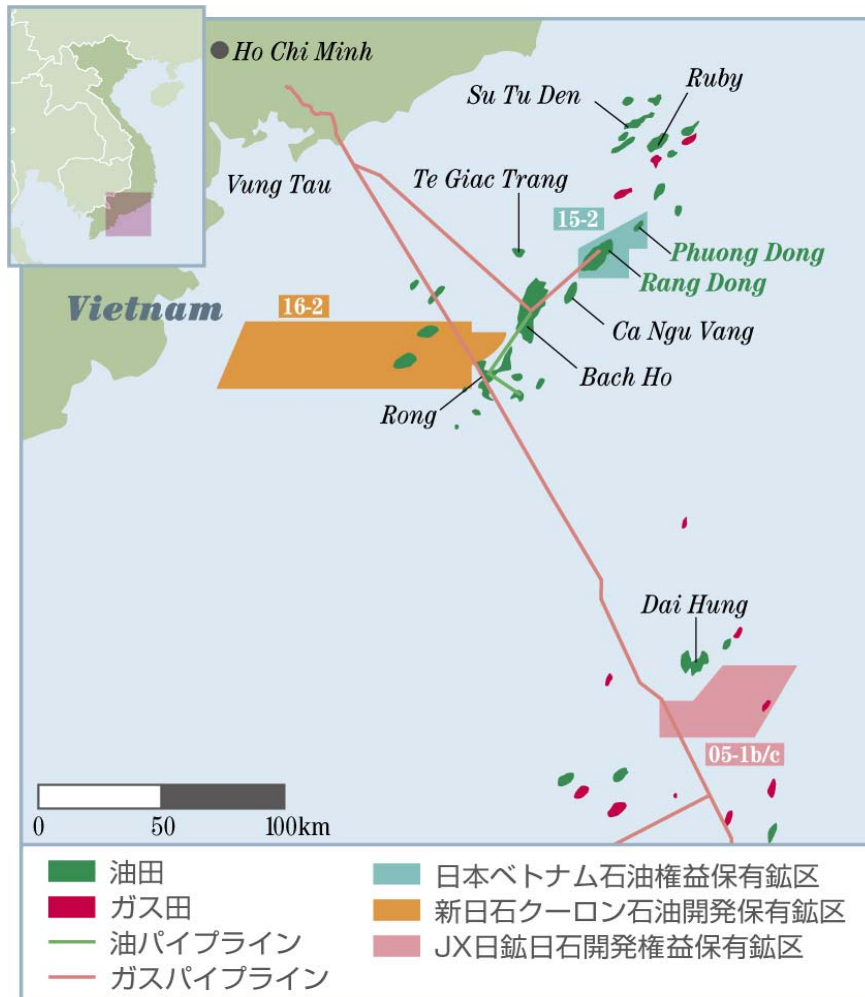
【オペレーター】 日本ベトナム石油 (株)

- 1992年 15-2鉱区権益取得
- 1994年 ラットン油田を発見し1998年より生産開始
- 2008年2月 ラットンCDMにつき、国連より排出権発行
- 2008年7月 ラットン油田の累計生産量1億5,000万バレルを達成
- 2008年8月 フントン油田生産開始
- 2011年4月 ラットンCDMにつき、国連より2回目の排出権発行

# 主な個別プロジェクトの概要⑥



## ベトナム② (16-2鉱区)



【プロジェクト会社】 ( ) 内 当社グループの出資比率  
 新日石クーロン石油開発 (株) (35.0%)

【権益比率】 40%

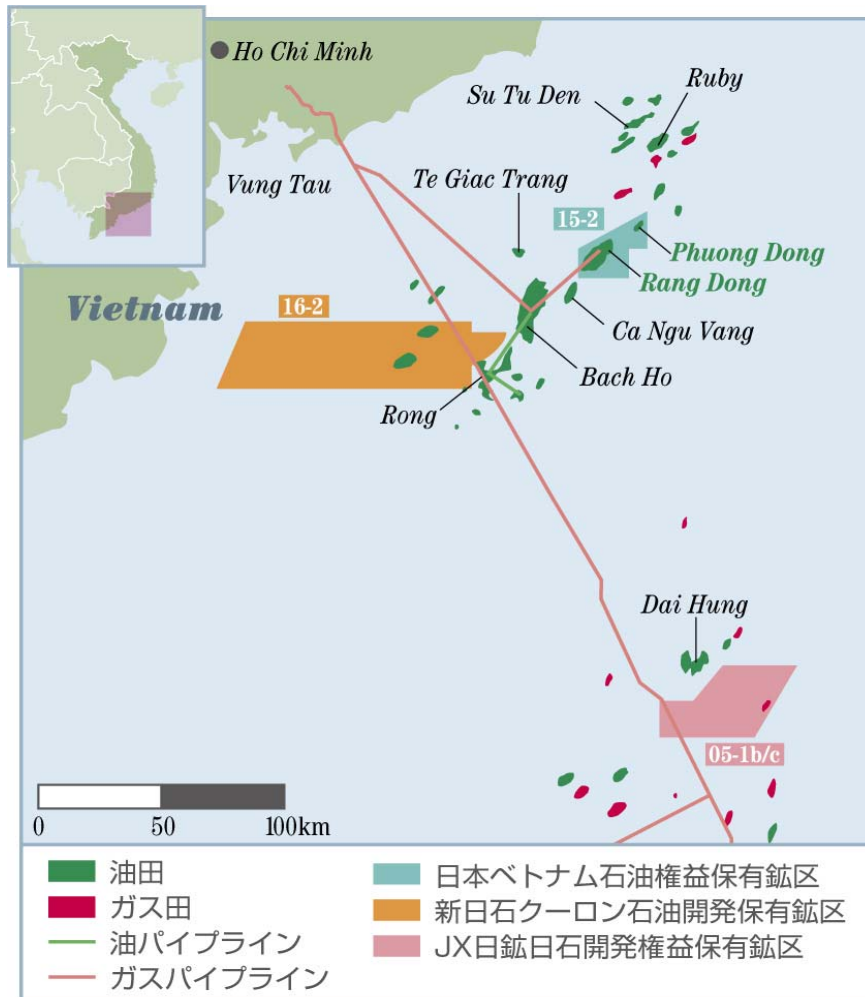
【オペレーター】 PVEP

- ・ 2007年11月 16-2鉱区権益取得
- ・ 2009年11月 試掘1号井掘削 (天然ガス・コンデンシート発見)
- ・ 2010年 8月 試掘2号井掘削 (天然ガス・コンデンシート発見)

# 主な個別プロジェクトの概要⑦



## ベトナム③ (05-1b/c 鉱区)



【プロジェクト会社】 ( ) 内 当社グループの出資比率  
 JX日鉱日石開発 (株) (100.0%)

【権益比率】 35%

【オペレーター】 出光オイルアンドガス開発

- 2004年10月 05-1b/c 鉱区権益取得
- 2010年 8月 試掘1号井掘削 (油・ガス発見)



# 主な個別プロジェクトの概要⑧



## ミャンマー



【2011年1-3月販売数量】 8,900 boed  
 (油 600 b/d、ガス 49 mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ( ) 内 当社グループの出資比率  
 日石ミャンマー石油開発(株) (50%)

【権益比率】 19.3%

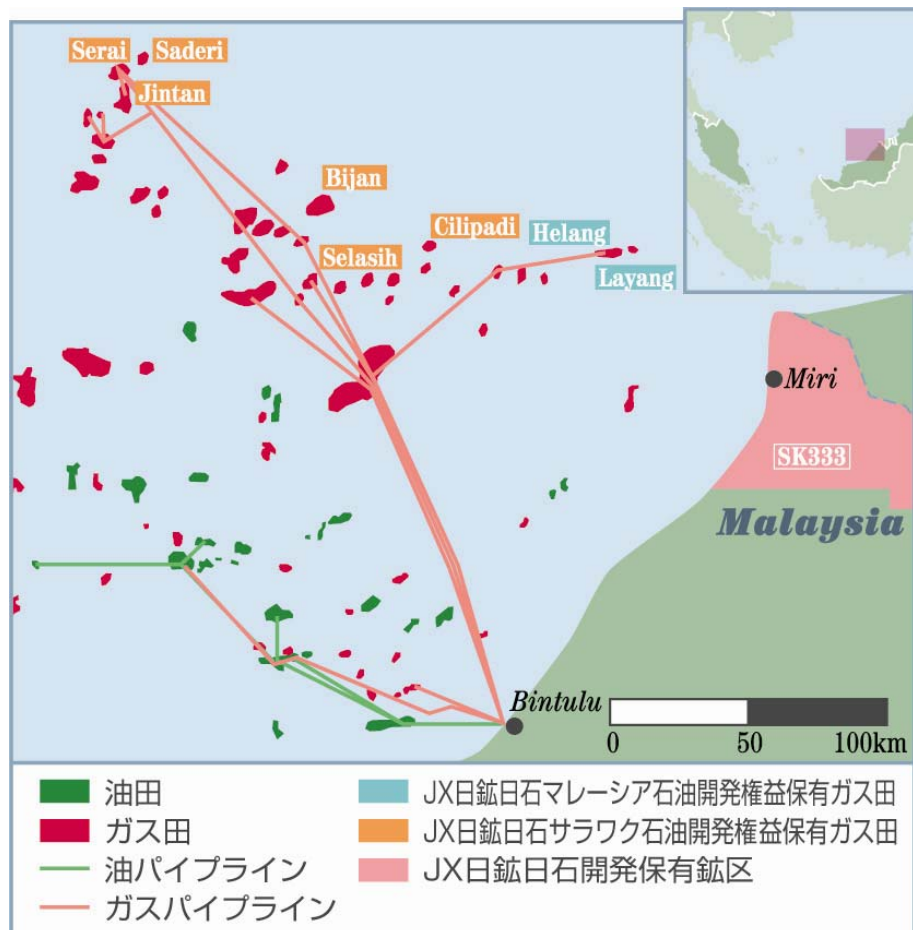
【オペレーター】 ヘトロナス・チャリガリ

- 1991年 ミャンマー海上M-13/14鉱区権益を取得
- 1992年 M-12鉱区権益を取得、同年イェタGun・ガス田を発見
- 2000年 タイのラチャブuri発電所向けに天然ガスの生産を開始

# 主な個別プロジェクトの概要⑨



## マレーシア① (SK-10)



【2011年1-3月販売数量】 20,000 boed  
(油 3,500 b/d、ガス 99 mmcf/d)

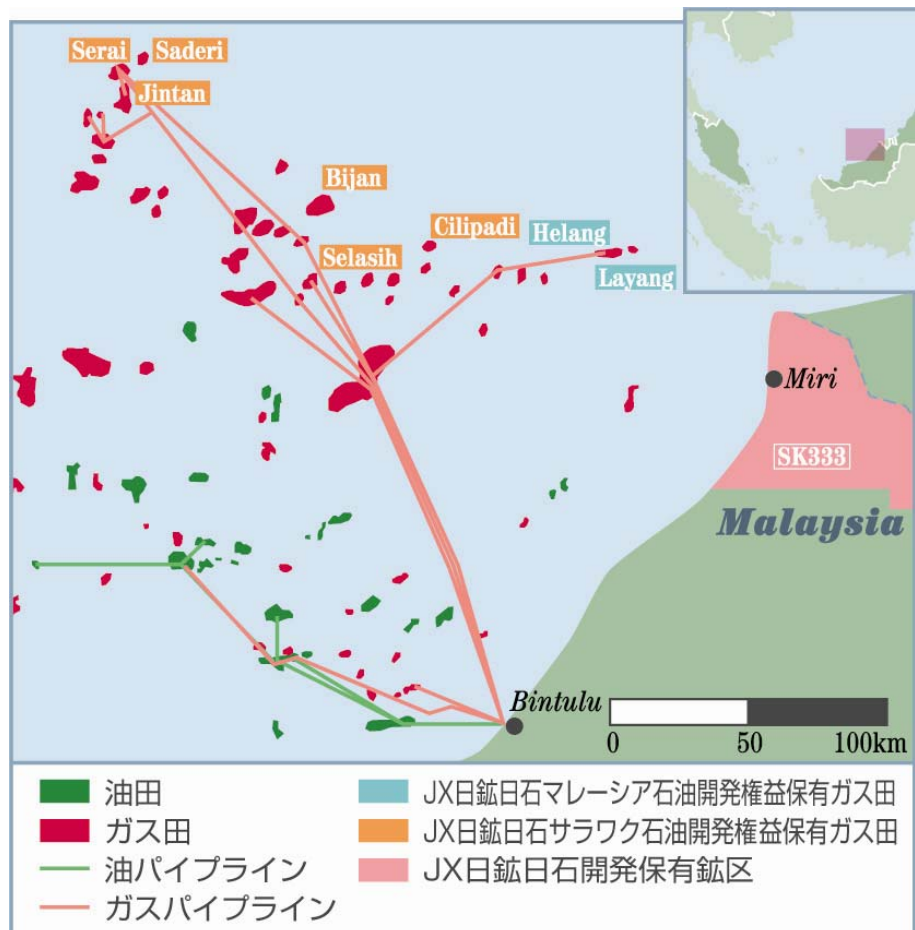
【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
JX日鉱日石マレーシア石油開発(株) (78.7%)

【権益比率】 75%

【オペレーター】 JX日鉱日石マレーシア石油開発(株)

- ・ 1987年 サラワク州沖SK-10鉱区の権益を取得
- ・ 1990年 ヘラン・ガス田を発見し、2003年より生産開始
- ・ 1991年 ラン・ガス田を発見

## マレーシア② (SK-8)



【2011年1-3月販売数量】 35,200 boed  
(油 2,100 b/d、ガス 198 mmcf/d)

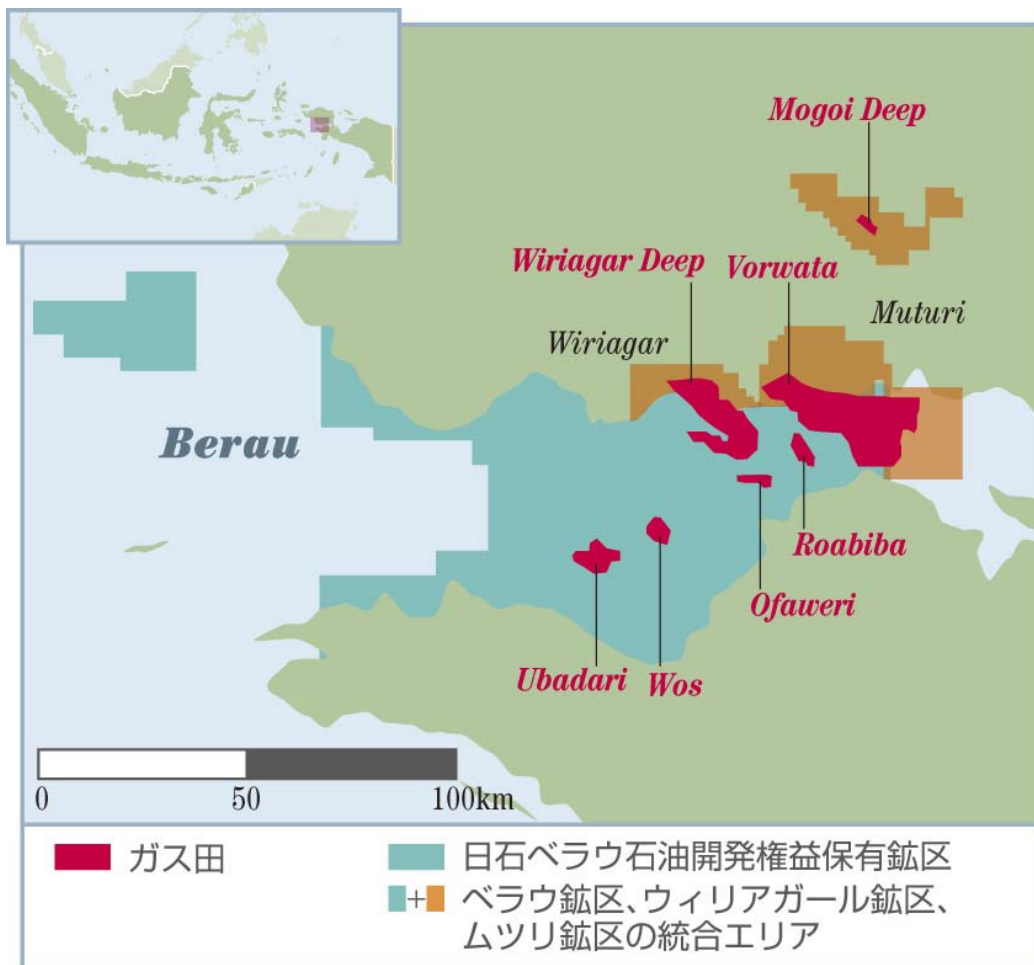
【プロジェクト会社】( )内 当社グループの出資比率  
JX日鉱日石サラワク石油開発(株)(76.5%)

【権益比率】 37.5%

【オペレーター】 シェル

- 1991年 SK-8鉱区権益を取得
- 1992年から1994年にかけて、ジントタン・ガス田、セライ・ガス田を発見し、2004年より生産開始
- 2008年 サデリ・ガス田が生産開始

## インドネシア



【2011年1-3月販売数量】 13,100 boed  
(油 500 b/d、ガス 75 mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ( ) 内 当社グループの出資比率  
日石ベラウ石油開発(株) (51%)

【権益比率】 12.2% (ユタイス後)

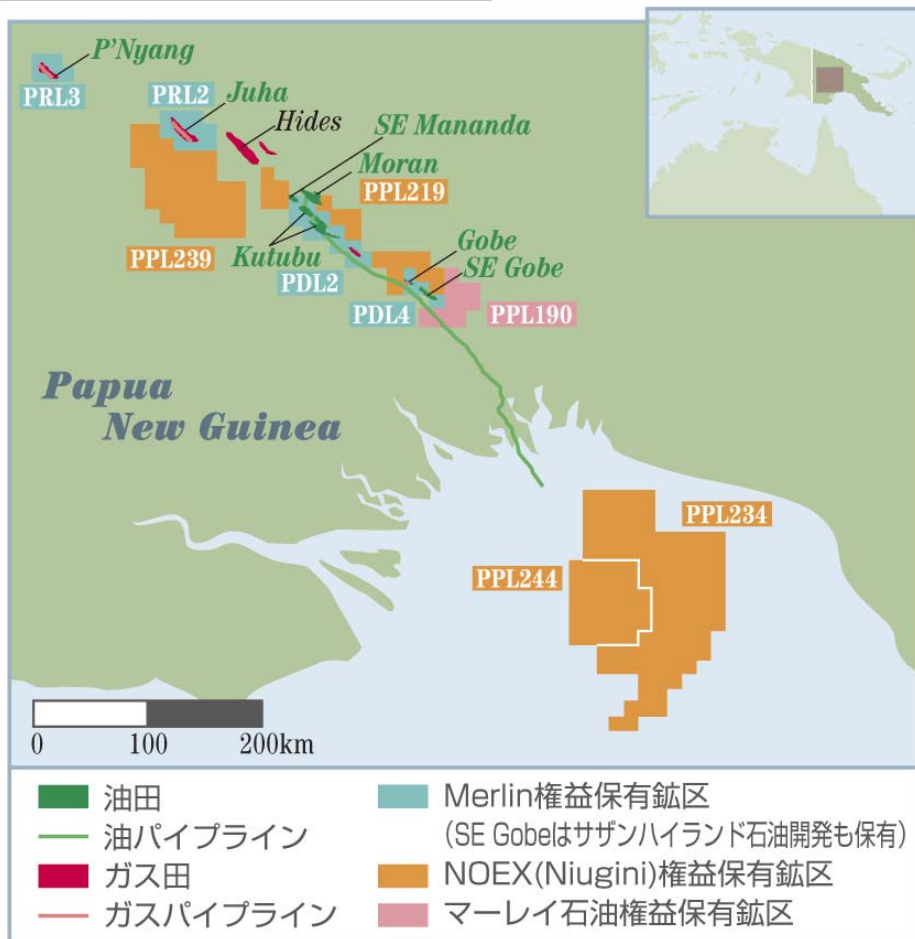
【オペレーター】 BP

- ・1990年より試掘3坑を掘削し、天然ガスを発見。その後フォルワ構造、ウィリアガールディープ構造等において天然ガスを発見
- ・2002年12月よりベラウ、ウィリアガールおよびムツリの3鉱区のパートナー間で鉱区をユタイスし、共同開発
- ・2009年6月にLNG生産開始、7月に第1船出荷

# 主な個別プロジェクトの概要⑫



## パプアニューギニア



【2011年1-3月販売数量】 5,000 boed  
(油 5,000 b/d)

【プロジェクト会社】 ( ) 内 当社グループの出資比率  
 日本パプアニューギニア石油(株) (98.4%)  
 Nippon Oil Exploration (PNG) Pty. LTD (100%)  
 Nippon Oil Exploration (Niugini) Pty. LTD (25%)  
 サザンハイランド石油開発(株) (80%)  
 マーレイ石油(株) (29.6%)

【権益比率】 4.7-73.5%

【オペレーター】 オイルサーチ、エクソンモービル他

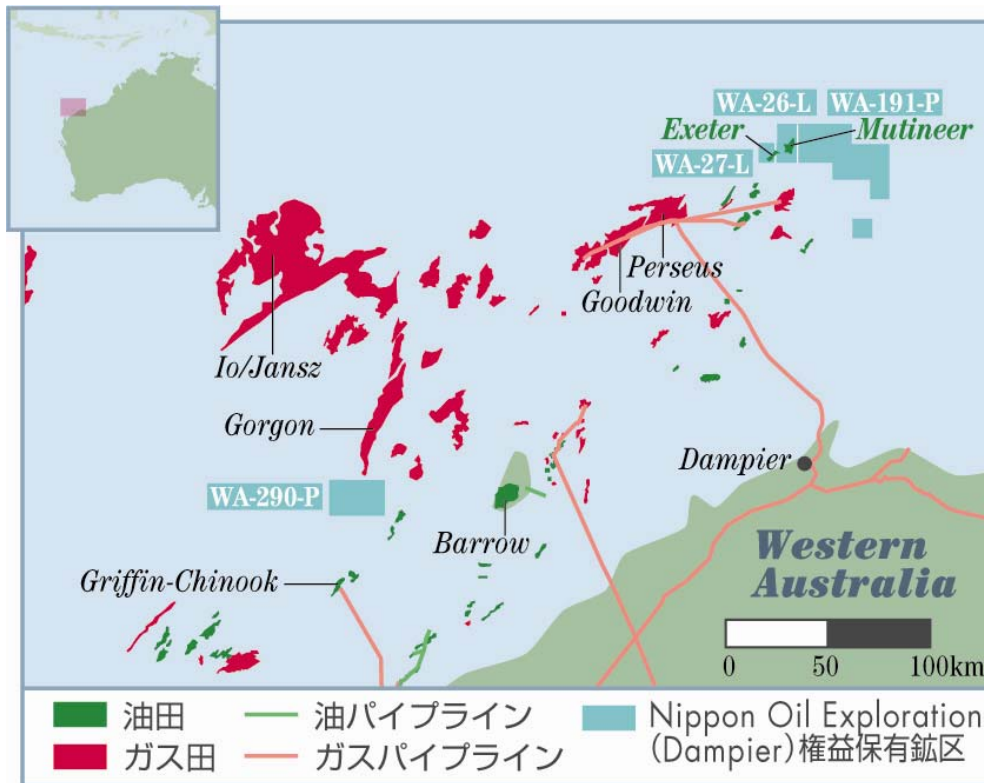
- ・1990年 ハブアニューギニア探鉱鉱区の権益を保有するマーリン社を買収。その後クツブ、モラン、ゴベ、SEゴベ、SEマナンダ油田において開発/生産事業を推進
- ・2008年12月 AGL社よりLNGプロジェクト権益および油田権益を取得
- ・2009年12月 PNG LNGプロジェクト参加企業間でLNGプロジェクト事業化に向けた最終投資決定に合意
- ・2011年4月 PPL219鉱区 試掘井「Mananda-5」で油を発見



# 主な個別プロジェクトの概要⑬



## オーストラリア



【2011年1-3月販売数量】 400 boed  
(油 400 b/d)

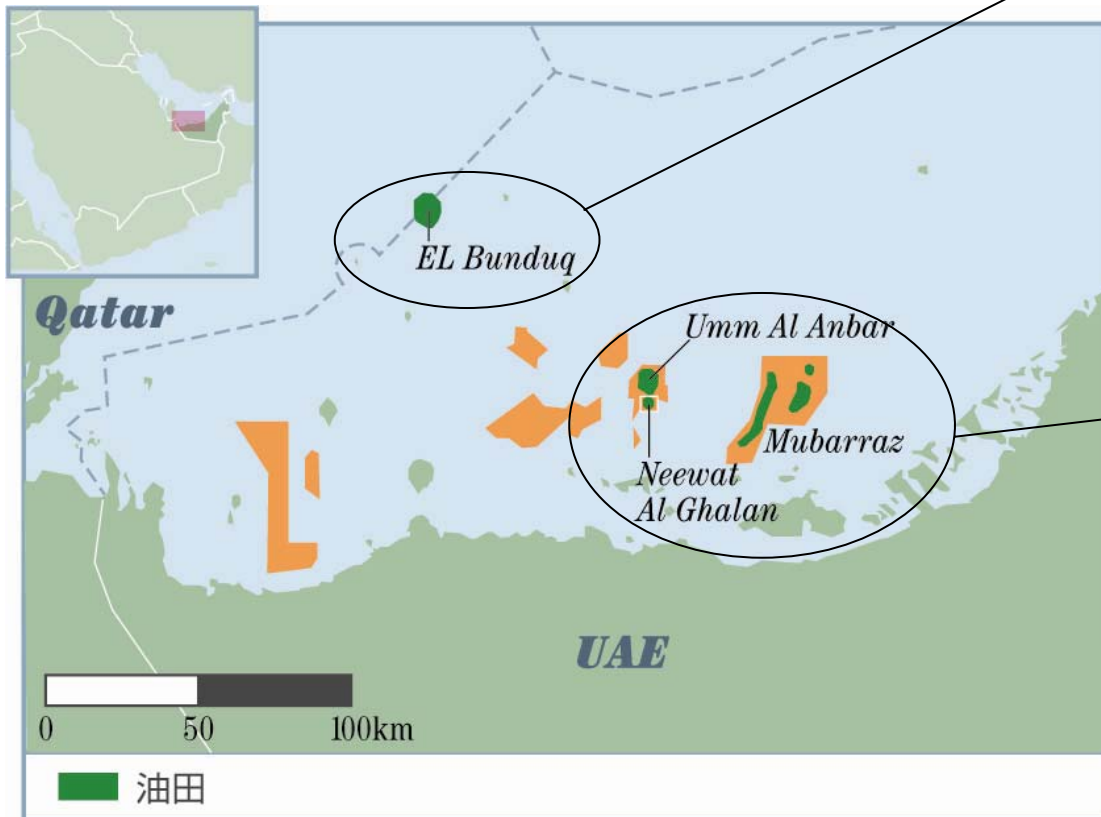
【プロジェクト会社】 ( ) 内 当社グループの出資比率  
Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty. Ltd (100%)

【権益比率】 15%-25%

【ホルダー】 Santos (WA-26-L, WA-27-L, WA-191-P)  
Apache (WA-290-P)

- 2002年 WA-191-P鉦区、ムティニア油田、エクセター油田を発見し、2005年より生産開始。
- 2011年4月 WA-290-P鉦区、試掘井「Zola-1」でガス層を発見
- 2011年5月 WA-191-P鉦区 フィスケイン・サウス構造にて原油を発見

UAE・カタール



【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
合同石油開発(株) (45%)

【権益比率】 97%

【オペレーター】 フントク社

- ・1970年 エル・フントク油田の権益を取得
- ・1975年 商業生産開始
- ・1983年 二次回収法(水攻法)により生産再開
- ・2006年 累計生産量2億バレル達成

【プロジェクト会社】( )内 当社グループの出資比率  
アブダビ石油(株) (31.5%)

【権益比率】 100%

【オペレーター】 アブダビ石油

- ・1967年 ムバラス鉱区の利権を取得
- ・1973年 ムバラス油田生産開始
- ・1989年 ウムアルアンバー油田生産開始
- ・1995年 ニーワット・アル・ギャラン油田生産開始
- ・2009年 3油田累計生産量3億バレル達成
- ・2011年 新利権契約締結





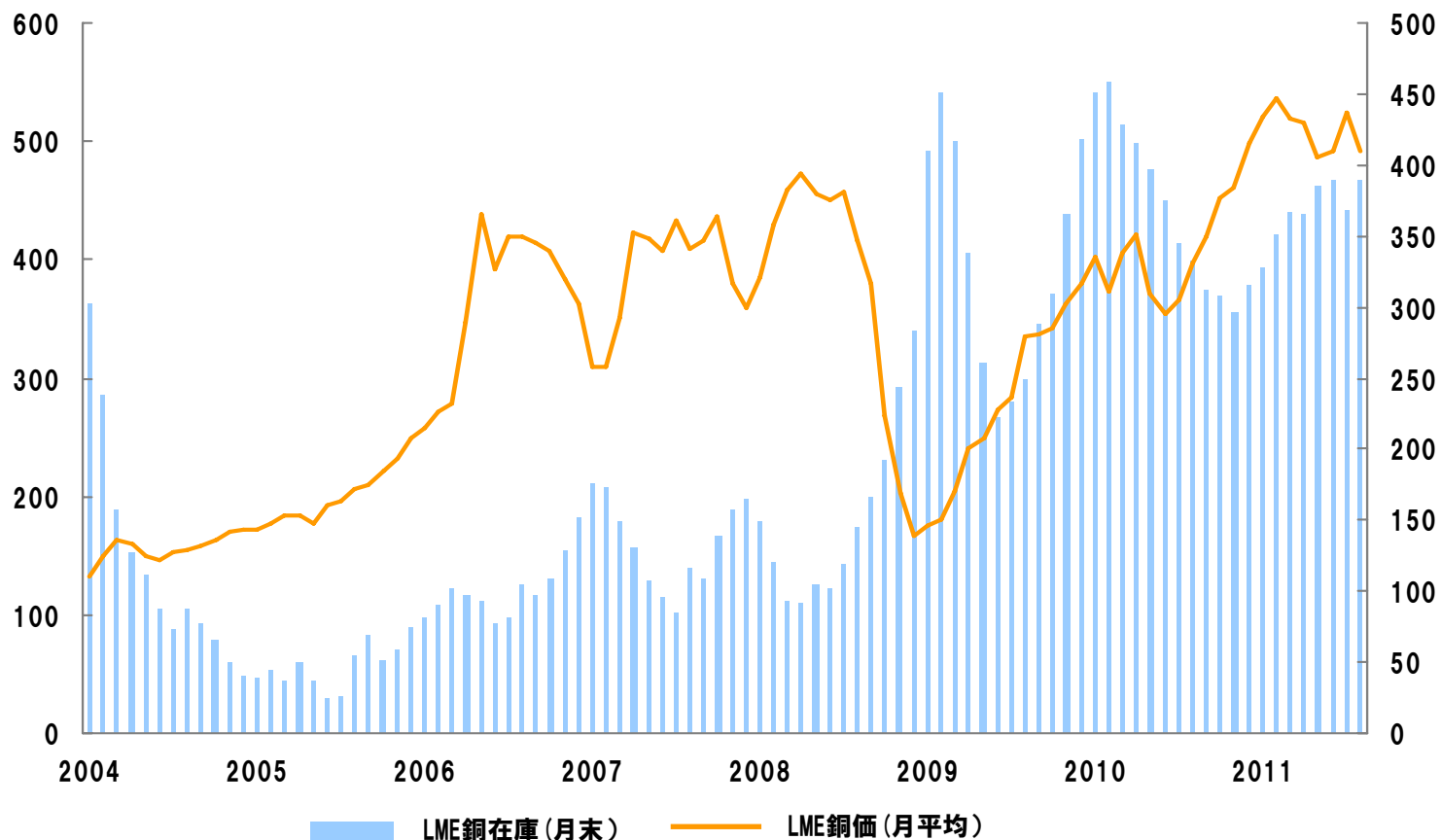
# 銅価・LME在庫



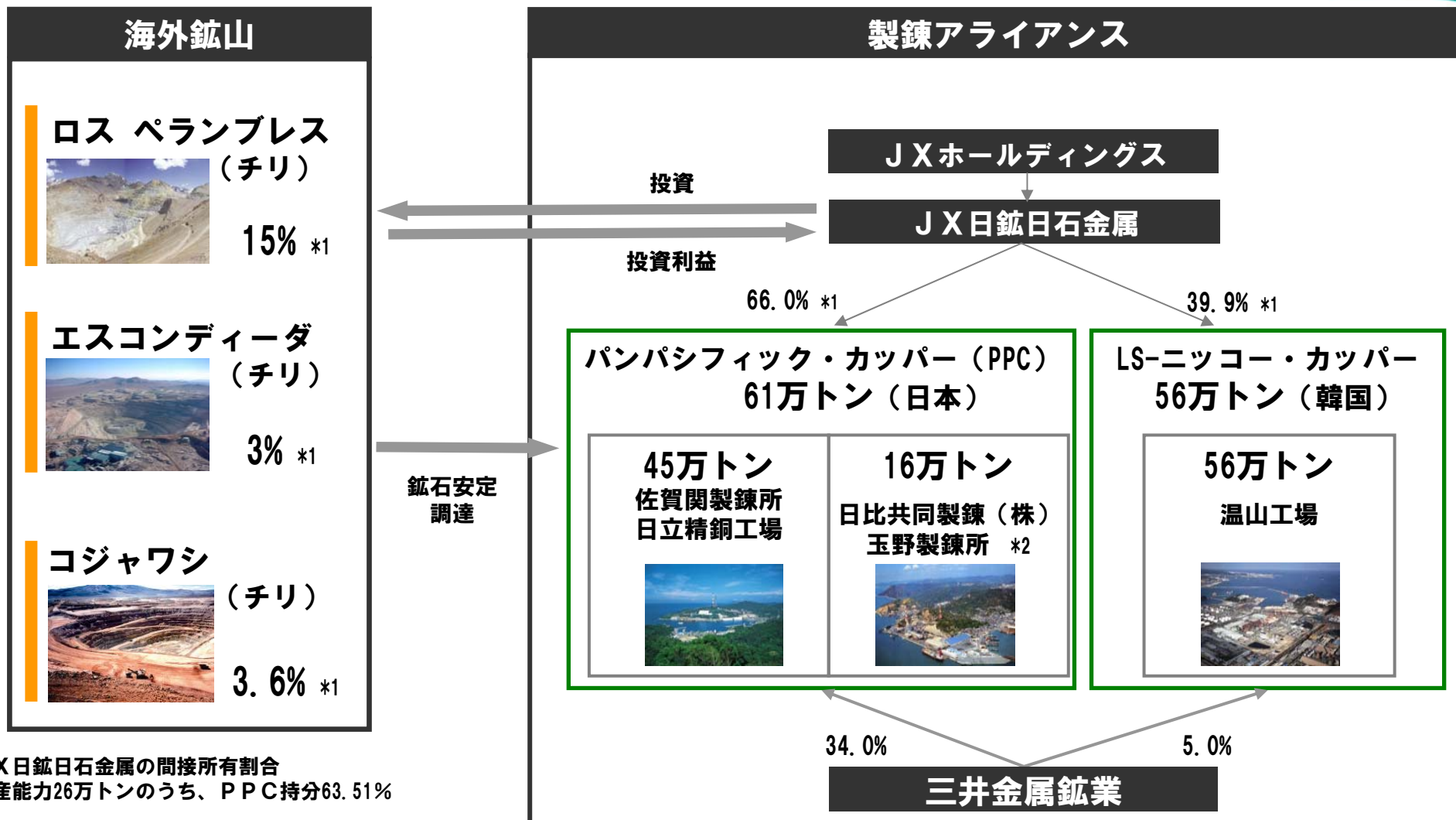
(¢/lb)	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度		
								1Q	7月	8月
銅価	136	186	316	344	266	277	369	415	436	410

LME在庫水準  
(千トン)

銅価  
(セント/ポンド)



金属  
銅事業の概要



\*1 JX日鉱日石金属の間接所有割合  
\*2 生産能力26万トンのうち、PPC持分63.51%

# 鉱山開発プロジェクト



## カセロネス銅鉱山（チリ）

開発中

2013年操業開始

**権益取得年月** 2006年5月

**権益取得金額** 137百万ドル

**生産期間** 2013年～2040年  
(28年間)

**SX-EW電気銅** 2013年1月～

**銅精鉱** 2013年9月～



### 生産計画

		当初5年間	28年平均	28年合計
銅	精鉱（銅量）	15万トン/年	11万トン/年	314万トン
	SX-EW電気銅	3万トン/年	1万トン/年	41万トン
	合計	18万トン/年	12万トン/年	355万トン
モリブデン		3千トン/年	3千トン/年	87千トン

**開発投資額** 約20億ドル（生産設備等初期投資額）

**権益比率** パンパシフィック・銅（PPC）\*1 75%  
三井物産 25%



\*1 PPCはJX日鉱日石金属66%と三井金属鉱業34%出資の合併会社

## 日鉍式塩化法 (N-Chlo Process)

湿式製錬法により低品位銅精鉱から効率的に銅・金・銀などを回収する独自の新技術。

乾式製錬法に比べ、SOxが発生せず、大幅な省エネとCO<sub>2</sub>排出量削減が可能。

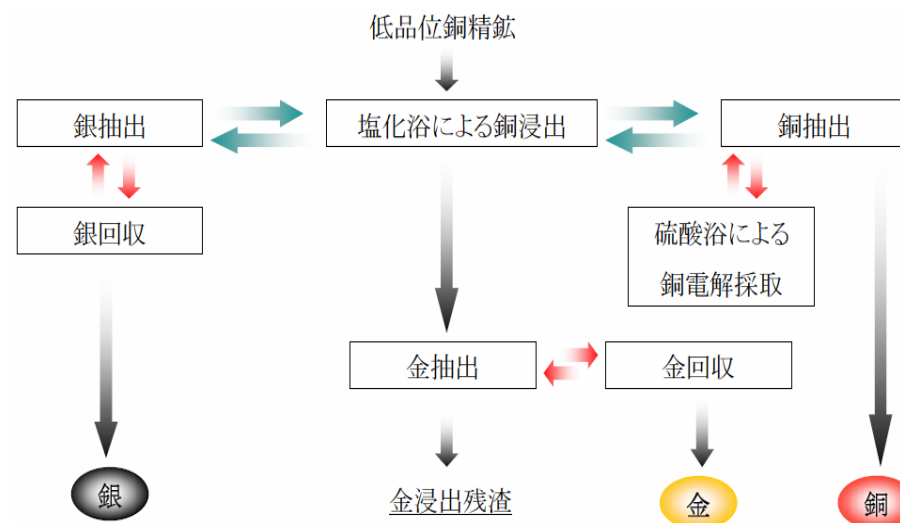
2009年度下期よりパイロットプラントにて実証試験を継続しており銅、金については良好な結果を得ている。

2011年度以降、実操業ベースでの試験に向けてFSレベルの設備設計を進める。

オーストラリア・パースのパイロットプラント  
(銅量100トン/年規模)



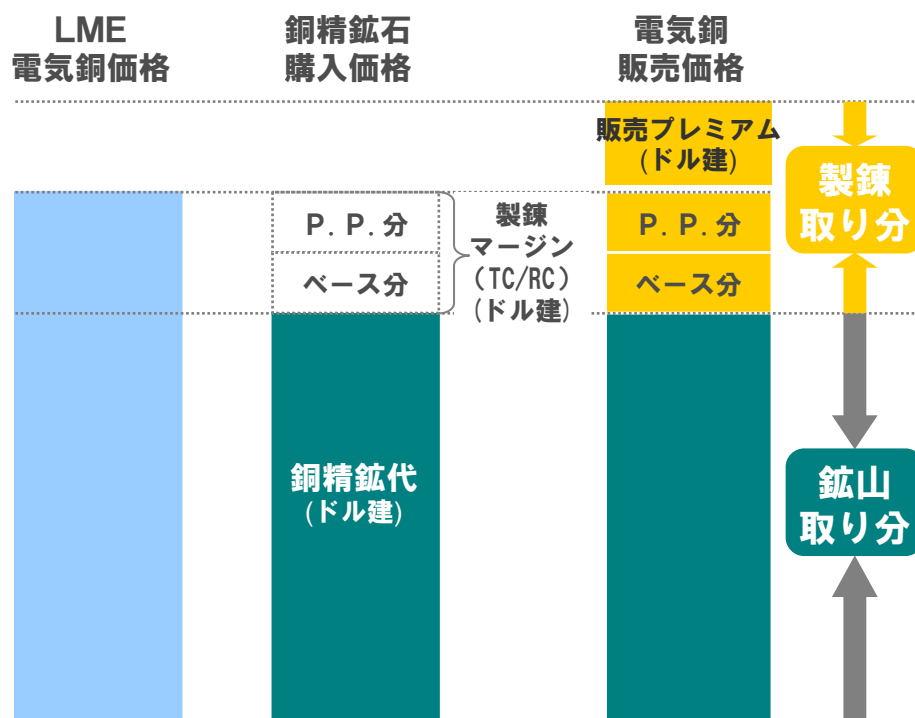
## 日鉍式塩化法の仕組み



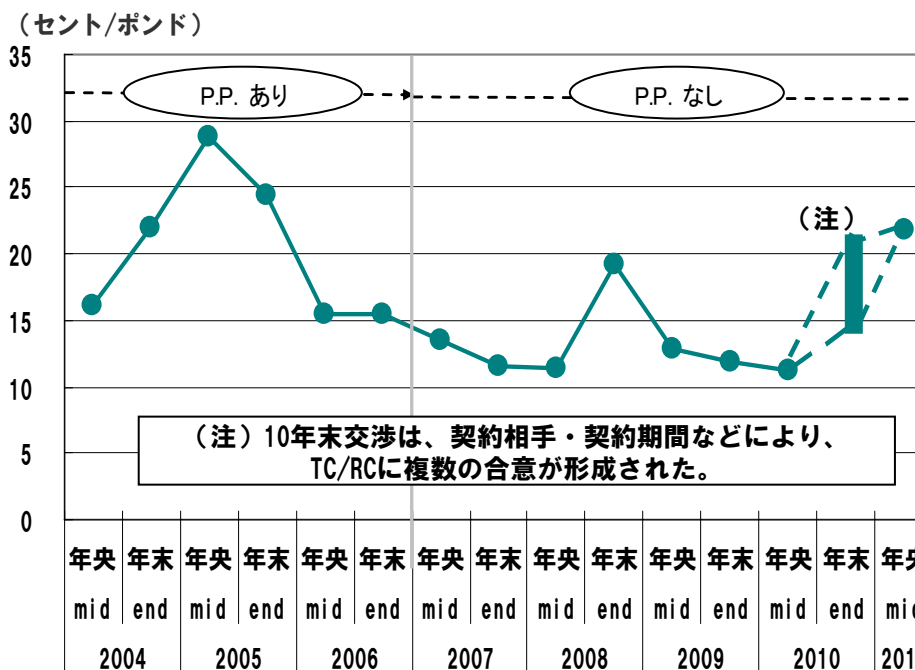
# 製錬事業の収益構造・ベースTC/RC推移



## TC/RCの構造



## ベースTC/RCの推移



【銅精鉱代】買鉱精錬会社が鉱山に支払う銅精鉱代は、LME価格から製錬マージン（TC/RC）を差し引いた金額。

【製錬マージン（TC/RC：溶錬費/精製費）】ベース分とP.P.分から成る。

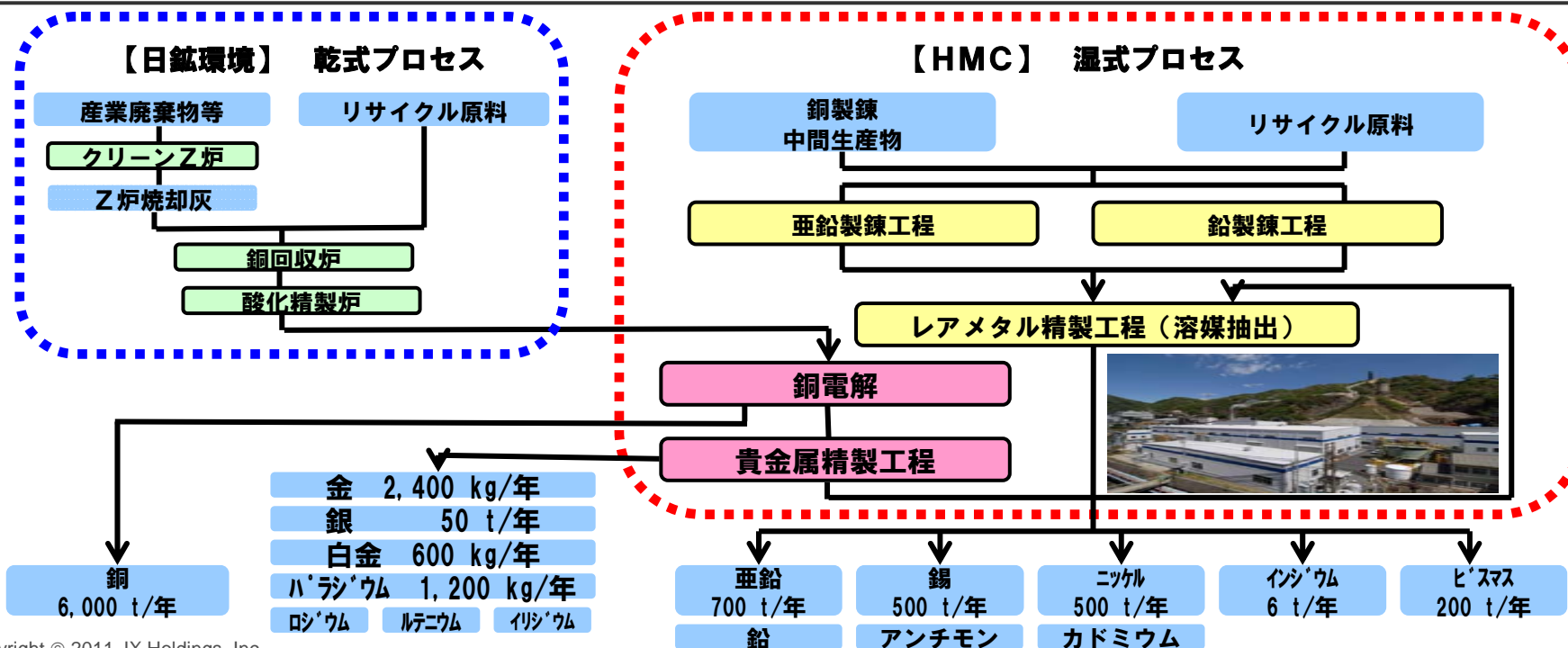
【P.P.（プライス・パーティシペーション）】

LME価格が一定の基準値を上回った分について、鉱山と製錬会社が一定割合で分配する制度。

【電気銅販売価格】LME価格と販売プレミアム（輸送費および関税等）から成る。

## 日立メタル・リサイクリング・コンプレックス（HMC）の概要

- ・ 湿式処理により16種類の有価金属を効率的に回収
- ・ 隣接する日鉱環境の乾式処理設備とあわせ、独自のゼロ・エミッション型複合プロセスを形成
- ・ リサイクル原料が大量に発生する首都圏（都市鉱山）に隣接する立地
- ・ 電材加工事業への安定的な原材料（インジウム、ニッケルなど）ソースとしての役割



# 金属 電材加工事業



主なIT関連（電材加工）製品	世界シェア (2010年現在)	一次用途	最終用途				
			パソコン	携帯電話	デジタル家電, AV	通信インフラ	自動車
 圧延銅箔		フレキシブル回路基板	○	◎	◎		
 電解銅箔		プリント回路基板	◎	○	◎	○	○
 半導体用ターゲット		CPU, メモリーチップ等	◎	○	◎	○	○
 液晶用 (ITO) ターゲット		透明導電膜	◎	○	○		
 磁性材ターゲット		ハードディスク等	◎	○			
 りん青銅		コネクタ、電子部品用ばね	◎	○	○		○
 コルソン合金 (C7025)		リードフレーム、コネクタ	◎	○	○		○
 チタン銅		高級コネクタ等	○	◎	○		
 インジウムリ化合物半導体		光通信デバイス、超高速IC			○	◎	○



## 将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化、
- (3) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。